



青森県の畜産

平成23年3月



目次

第1章 農業の概要

- 1) 自然と気象..... 1
- 2) 本県農業の地位..... 2
- 3) 農業産出額..... 4

第2章 畜産の概要

- 1) 畜産産出額..... 5
- 2) 主要家畜の頭羽数..... 5

第3章 家畜飼養動向

- 1) 乳用牛..... 6
- 2) 肉用牛..... 8
- 3) 豚..... 10
- 4) 採卵鶏..... 12
- 5) ブロイラー..... 13
- 6) その他..... 14

第4章 畜産物の流通と価格

- 1) 牛乳..... 15
- 2) 肉用牛..... 17
- 3) 豚..... 19
- 4) 鶏卵..... 21
- 5) ブロイラー..... 23
- 6) 畜産物支出金額、購入数量...24

第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1) 牛乳..... 25
- 2) 肉用牛..... 26
- 3) 豚..... 28

第6章 草地と飼料

- 1) 自給飼料の状況.....29
- 2) 草地開発面積.....30
- 3) 配合飼料の状況.....31

第7章 家畜衛生

- 1) 家畜防疫事業の推移.....32
- 2) 監視伝染病発生状況.....33

第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況.....34

第9章 参考資料

- 1) 青森県酪農・肉用牛生産
近代化計画の目標.....35
- 2) 畜産行政組織の概要.....36
- 3) 試験研究機関.....37
- 4) 行政区域・各機関所在地.....37
- 5) 畜産関係機関・団体.....38
- 6) 畜産関係施設.....39
- 7) 県内の特徴的な動き.....40
- 8) 県基幹種雄牛.....41

表紙写真 : 日本短角種の放牧風景(横浜町)

裏表紙写真 : 吹越台地飼料生産利用組合によるトウモロコシの収穫作業(六ヶ所村)

第1章 農業の概要

1) 自然と気象

[位置]

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相對し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北新幹線）は約720kmで、時間距離は鉄道では最短3時間10分、自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、飛行機では約1時間10分となっている。

[面積]

本県の面積は、全国第8位の9,644平方キロメートルで、全国の約3%を占めているが、人口密度は全国44位となっており、1人あたりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

[地形]

地勢は中央の奥羽山脈を境として、日本海側に接する津軽地方では、広大な沖積平野と出羽山脈の延長にある山地が形成され、山地によって囲まれた岩木川流域には肥沃な津軽平野、奥羽山脈に北端には青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、火山灰土に覆われた大地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

[気象]

本州最北端にあることから、冷涼型の気候で四季がはっきりしている。

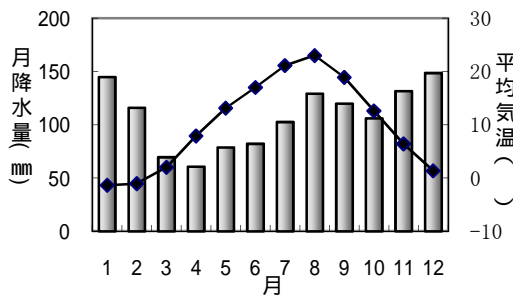
夏期は、津軽地方は比較的気温が高く気象に恵まれているが、県南地方では北太平洋に発達する高気圧により、春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は大陸高気圧の影響により、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では多雪となるが、県南地方は冷え込みが激しく、晴天の日が多く雪も少ない。

月平均気温と月平均降水量の関係(1971～2000年、資料：気象庁気象統計情報)

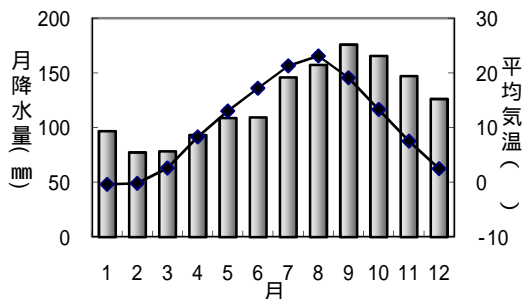
青森

緯度：北緯 40° 49'
 経度：東経140° 46'



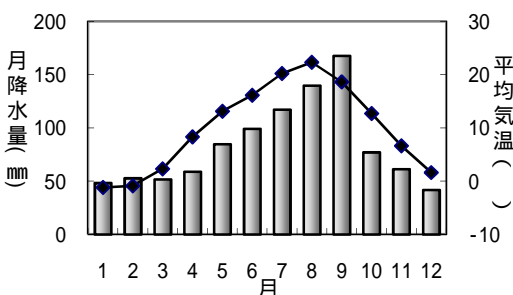
深浦

緯度：北緯 40° 38'
 経度：東経139° 55'



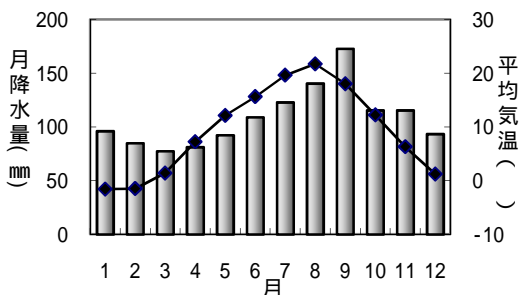
八戸

緯度：北緯 40° 31'
 経度：東経141° 31'



むつ

緯度：北緯 41° 17'
 経度：東経141° 12'

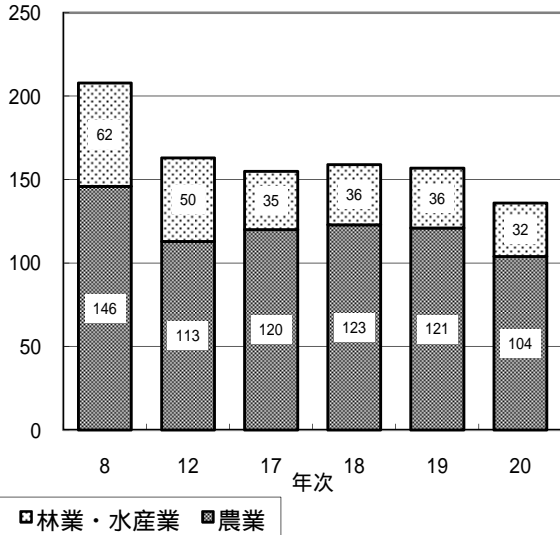


2) 本県農業の地位

県内純生産に占める第1次産業の割合(20年)は3.9%、全産業の就業人口に占める第1次産業の割合(20年)は13.4%と、それぞれ全国平均に比べ高い水準となっている。

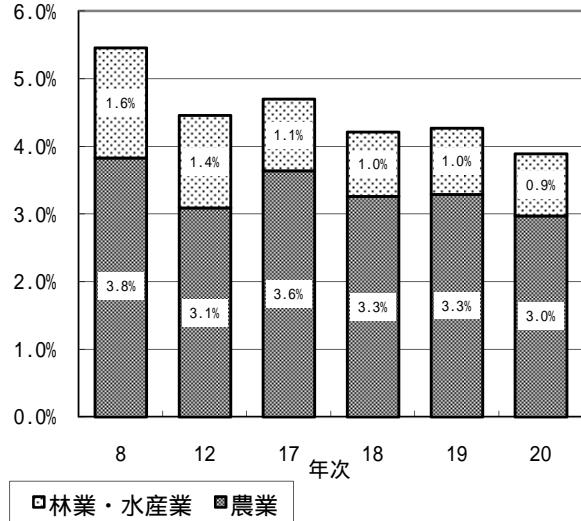
また、平成12年の産業連関表からみると、県全体の総移輸出額に占める第1次産業の割合は11%、農水産物の供給先である製造業(食料品)が13%で、第1次産業生産が県経済に及ぼす影響は大きく、農林水産業は本県の基幹産業として位置づけられる。

農林水産業純生産額(単位:十億円)



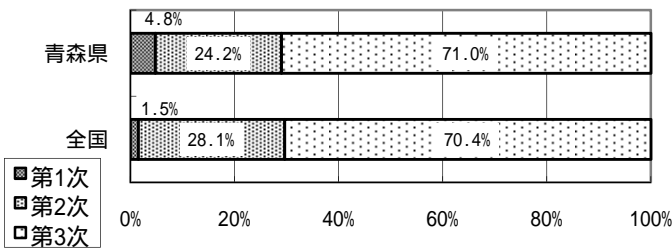
帰属利子分を含む

県内純生産に占める農林水産業の割合

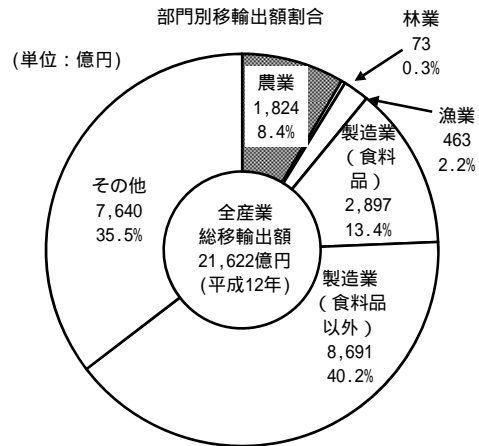


資料:青森県県民経済計算

産業別純生産構成比(19年)

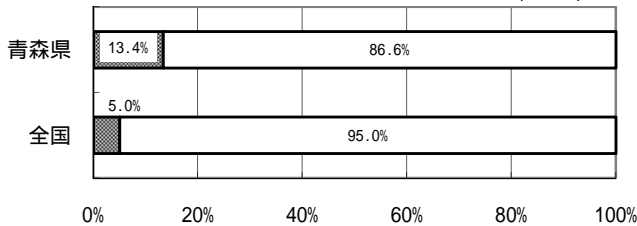


資料:青森県県民経済計算、国民経済計算年報



資料:平成12年青森県産業連関表

就業人口に占める第1次産業就業人口の割合(20年)



資料:青森県県民経済計算、国民経済計算年報

主 要 指 標

区 分	単位	年次	青森県	東 北	全 国	青 森 /東北	青 森 /全国	東北 順位	全国 順位
総 農 家 数	戸	22	54,210	406,266	2,527,948	13.3	2.1	5	21
販 売 農 家 数	"	"	43,314	304,975	1,631,206	14.2	2.7	5	17
専 兼 業 別	専 業 農 家 数	"	13,188	63,046	451,427	20.9	2.9	1	9
	一 種 兼 業 農 家	"	10,278	50,624	224,610	20.3	4.6	1	3
	二 種 兼 業 農 家	"	19,848	191,305	955,169	10.4	2.1	6	22
主 副 業 別	主 業 農 家	"	16,264	69,632	359,720	23.4	4.5	1	3
	準 主 業 農 家	"	9,916	92,794	388,883	10.7	2.5	6	14
	副 業 的 農 家	"	17,134	142,549	882,603	12.0	1.9	5	26
農 業 就 業 人 口	"	"	80,483	486,533	2,605,736	16.5	3.1	3	9
基 幹 的 農 業 従 事 者	"	"	68,609	359,636	2,051,437	19.1	3.3	2	8
耕 地 面 積	ha	21	157,200	872,500	4,609,000	18.0	3.4	1	4
田	"	"	83,700	623,400	2,506,000	13.4	3.3	6	10
畑	"	"	73,500	249,000	2,103,000	29.5	3.5	1	4
耕 地 利 用 率	%	20	84.9	85.7	92.2			4	35
水 稻 収 穫 量	t	21	286,700	2,322,000	8,474,000	12.3	3.4	6	11
い ん ご 収 穫 量	"	20	493,200	689,480	910,700	71.5	54.2	1	1
乳 用 牛 飼 養 頭 数	頭	22	13,900	123,400	1,484,000	11.3	0.9	4	19
肉 用 牛 飼 養 頭 数	"	"	62,400	412,500	2,892,000	15.1	2.2	4	14
野 菜 栽 培 延 べ 面 積	ha	20	18,700	72,600	554,400	25.8	3.4	1	6
農 業 産 出 額	億円	21	2,664	13,115	83,162	20.3	3.2	1	8
主 要 作 物	米	"	523	4,709	18,044	11.1	2.9	6	11
	野 菜	"	563	2,215	20,876	25.4	2.7	1	13
	果 実	"	652	1,593	6,984	40.9	9.3	1	1
	う ち り ん ご	"	617						
	畜 産	"	778	3,828	26,371	20.3	3.0	2	10
生 産 農 業 所 得	"	19	1,263	5,129	30,668	24.6	4.1	1	4
農 家 総 所 得	"	19	4,092	4,528	4,836				
農 家 所 得	農 家 所 得	"	2,984	3,079	3,135				
	農 業 所 得	"	1,866	1,230	1,195				
	農 業 生 産 関 連 事 業 所 得	"		11	4				
	農 外 所 得	"	1,118	1,798	1,936				
農 業 依 存 度 /	%	"	62.5	39.9	38.1				

資料：青森農林水産統計年報、農作物統計、園芸作物統計、生産農業所得統計、青森県の農業経済、農業構造動態調査報告書、青森統計・情報センター調査

3) 農業産出額

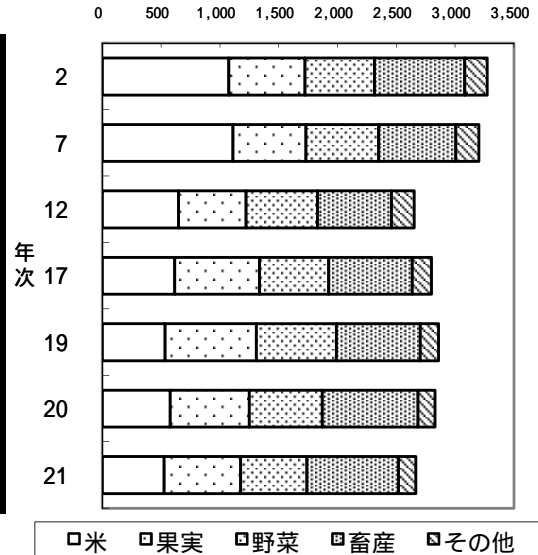
農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて産出したものである。

青森県農業産出額

（単位：億円）

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
2	3,270	1,074	647	593	766	190
7	3,200	1,109	621	619	656	195
12	2,649	647	573	608	628	193
17	2,797	613	722	589	710	163
19	2,858	531	778	680	714	155
20	2,828	576	671	623	813	145
21	2,664	523	652	563	778	148

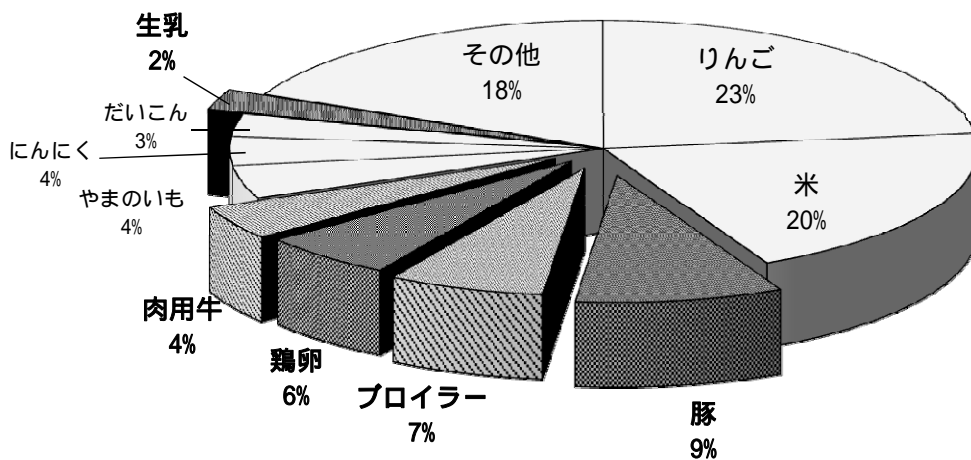


県内産出額上位10品目（21年）

（単位：億円）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	プロイラー	鶏卵	肉用牛	やまのいも	にんにく	だいこん	生乳
産出額	617	523	239	180	155	116	111	96	77	69

資料：生産農業所得統計



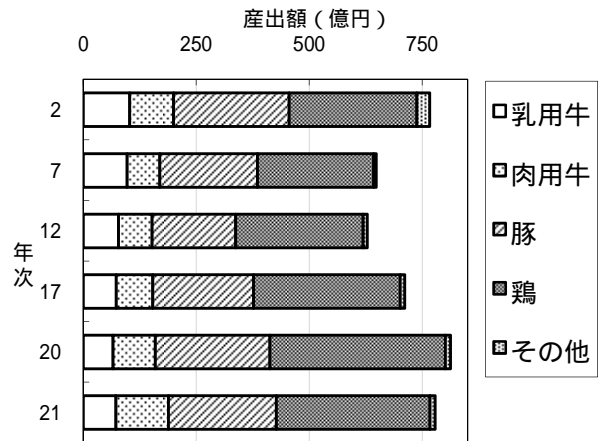
第2章 畜産の概要

1) 畜産産出額

平成21年の畜産産出額は778億円（対前年比4.3%減）となっており、畜種別では鶏340億円（対前年比12.4%減）、豚239億円（対前年比5.9%減）、肉用牛116億円（対前年比24.7%増）、乳用牛72億円（対前年比9.1%増）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛	肉用牛	豚	鶏	その他
2	766	103	97	255	283	28
7	648	97	72	216	257	6
12	628	78	74	185	282	9
17	710	73	81	223	324	10
20	813	66	93	254	388	11
21	778	72	116	239	340	11



資料：農林水産統計

2) 主要家畜の頭羽数

(1) 飼養戸数、頭羽数（乳用牛、肉用牛：平成22年2月1日、豚、鶏：平成21年2月1日現在）

（単位：戸・頭・千羽）

飼養戸数	乳用牛			飼養戸数	肉用牛			飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	採卵鶏		飼養戸数	飼養羽数
	飼養頭数				飼養頭数						飼養羽数			
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種	乳用種				合計	成鶏めす		
284	13,900	9,690	3,940	1,330	62,400	28,700	33,600	163	386,600	29	6,267	4,910	58	6,105

資料：畜産統計

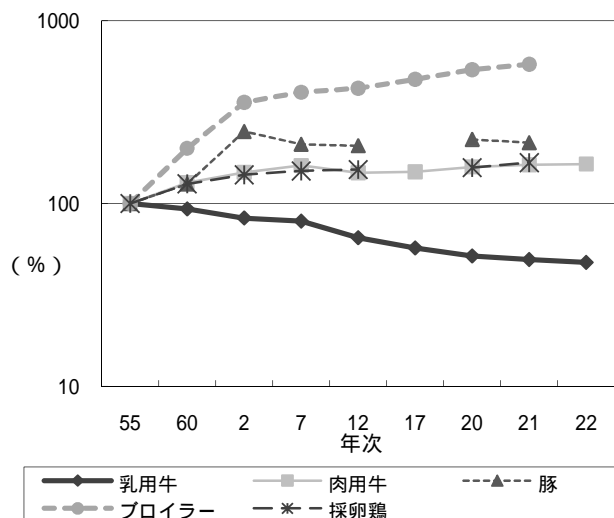
(2) 家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較してみると、ブロイラー（578%）、豚（215%）、肉用牛（165%）は伸びており、乳用牛（48%）は減少している。

（単位：パーセント）

（対数表示）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー
55	100	100	100	100	100
60	93	130	128	128	201
2	83	148	248	144	358
7	80	161	211	151	407
12	65	147	207	154	428
17	57	149	/	/	479
20	52	159	224	157	540
21	49	163	215	167	578
22	48	165	/	/	/



平成17年、22年は農業センサス実施年のため一部調査は中止している。

資料：畜産統計・食鳥流通統計

第3章 家畜飼養動向

1) 乳用牛

飼養戸数及び飼養頭数

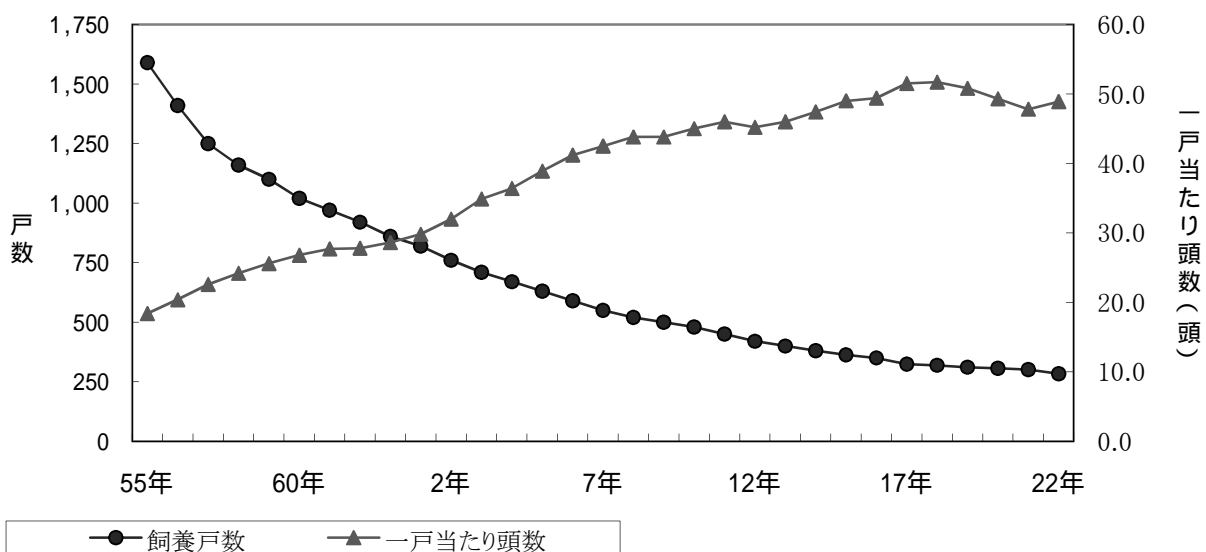
飼養戸数は年々減少し、平成22年は300戸を割って284戸となった。飼養頭数も減少傾向にあり、平成22年は対前年比3.5%減の13,900頭となった。

(単位:戸、頭)

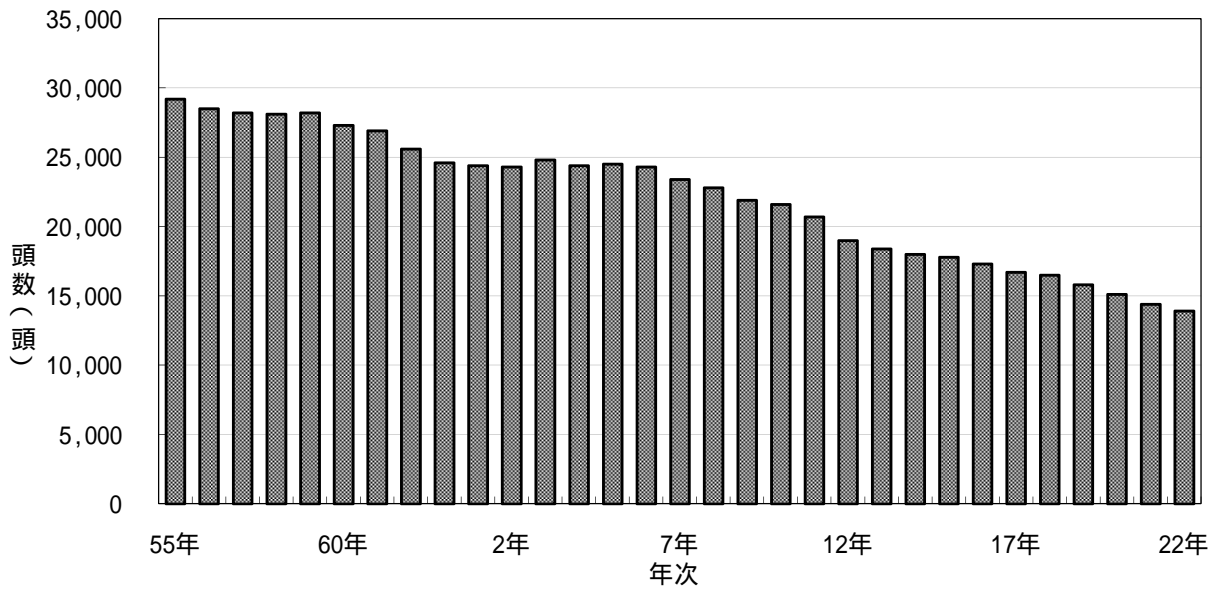
区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数 (め す)								一 戸 当 たり 頭 数
		合計	2 歳 以 上						2 歳 未 満	
			計	経 産 牛			未 経 産 牛			
				小 計	搾 乳 牛	乾 乳 牛				
青 森 県	昭55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18.4
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	26.8
	平 2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32.0
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	42.5
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45.2
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	51.5
20.2.1	青森	306	15,100	10,900	10,600	9,170	1,470	260	4,240	49.3
	全国	24,400	1,533,000	1,075,000	998,200	861,500	136,700	76,500	458,000	62.8
21.2.1	青森	301	14,400	10,400	10,100	8,750	1,360	250	4,000	47.8
	全国	23,100	1,500,000	1,055,000	985,200	848,000	137,200	69,600	445,100	64.9
22.2.1	青森	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	48.9
	全国	21,900	1,484,000	1,029,000	963,800	829,700	134,100	65,600	454,900	67.8

資料：畜産統計

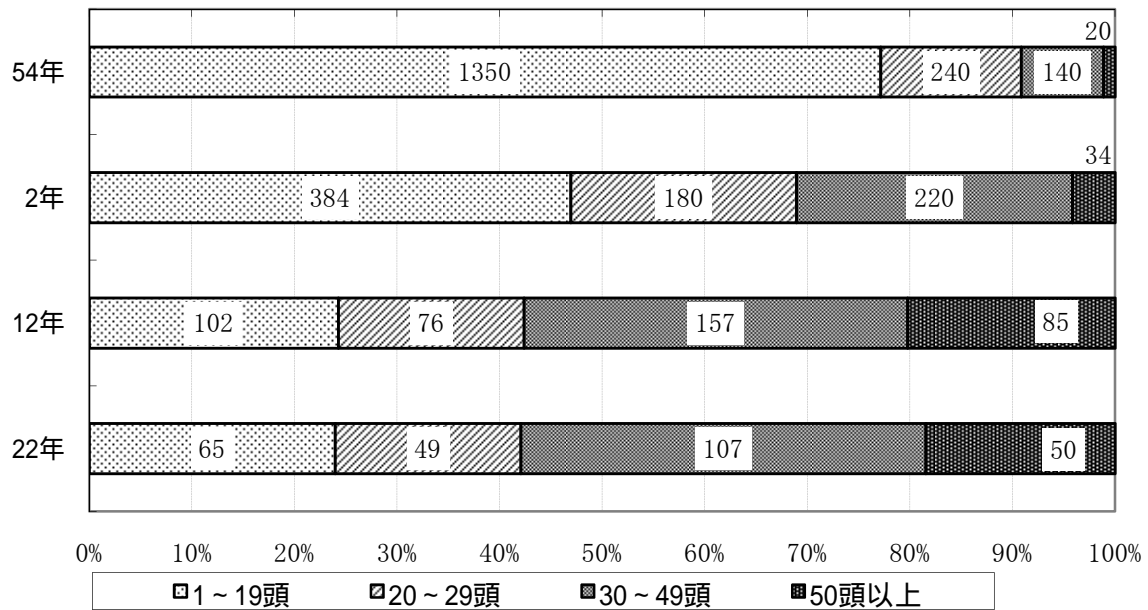
飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



飼養頭数の推移



頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

2) 肉用牛

飼養戸数及び飼養頭数

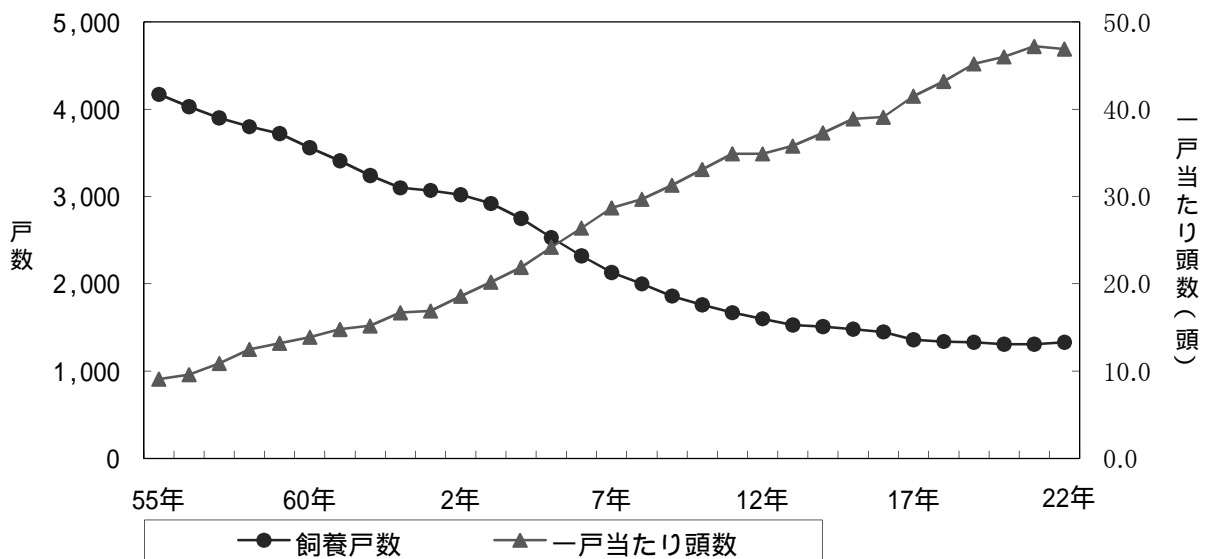
飼養戸数はここ数年は、ほぼ横ばいで推移しており、平成22年は20戸増の1,330戸となった。飼養頭数は、平成22年は前年に引き続き増加し、対前年比1.0%増の62,400頭となった。

(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数	飼養頭数						一戸当たり頭数	
		計	肉用種めす		肉用種おす		乳用種		
			2歳未満	2歳以上	2歳未満	2歳以上			
青森県	昭55.2.1	4,170	37,910	4,930	13,810	5,640	3,100	10,130	9.1
	60.2.1	3,560	49,400	5,800	14,600	6,680	2,780	19,500	13.9
	平 2.2.1	3,020	56,200	17,600		8,520		30,100	18.6
	7.2.1	2,130	61,200	17,800		13,700		29,600	28.7
	12.2.1	1,600	55,800	16,700		9,700		29,400	34.9
	17.2.1	1,360	56,500	16,200		9,110		31,200	41.5
20.2.1	青森	1,310	60,200	18,700		8,580		33,000	46.0
	全国	80,400	2,890,000	1,169,000		653,800		1,067,000	35.9
21.2.1	青森	1,310	61,800	19,400		9,590		32,800	47.2
	全国	77,300	2,923,000	1,215,000		674,200		1,033,000	37.8
22.2.1	青森	1,330	62,400	19,500		9,250		33,600	46.9
	全国	74,400	2,892,000	1,234,000		689,600		968,300	38.9

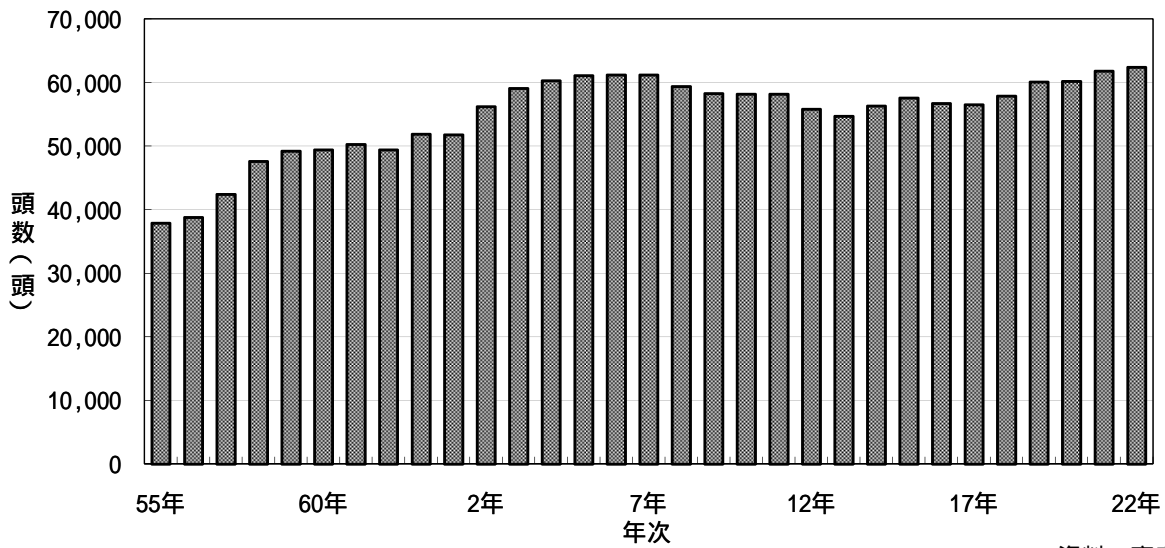
資料：畜産統計

飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



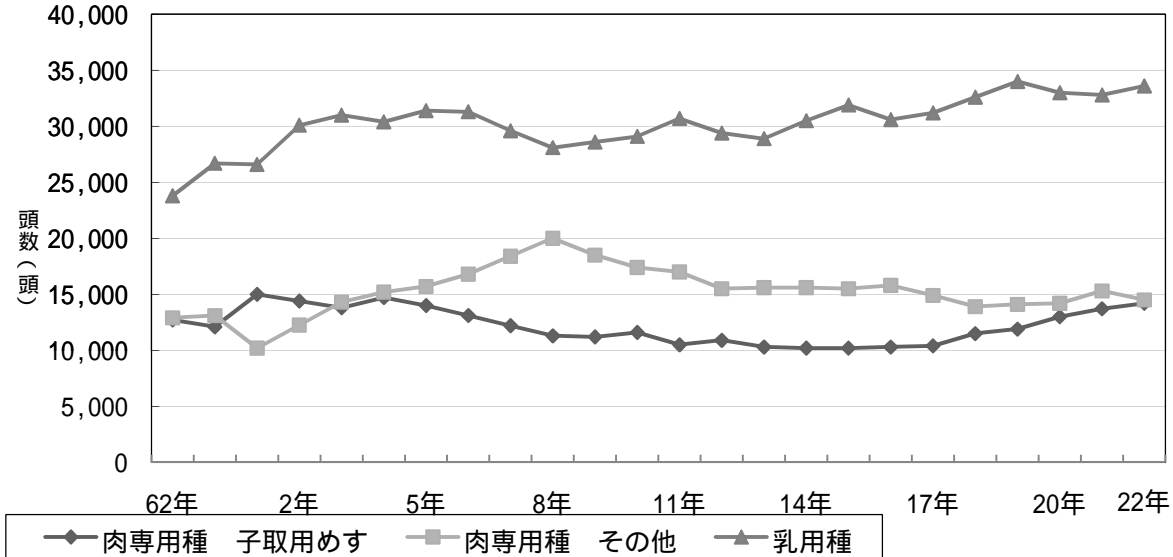
資料：畜産統計

飼養頭数の推移



資料：畜産統計

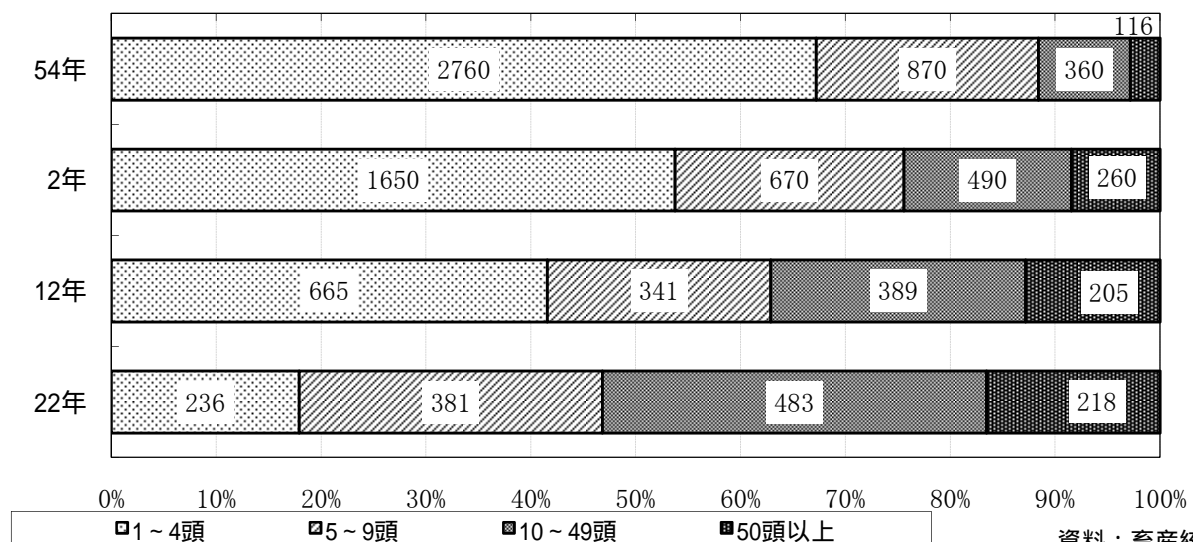
品種別飼養頭数の推移



(平成2年次、7年次はセンサス年で一部調査を中止しているため、前後年の中間値を用いた)

資料：畜産統計

頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

3) 豚

飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、ここ数年減少を続け、平成21年は前回に比べ8戸減の163戸となった。飼養頭数は、平成7年以降ほぼ横ばいで推移しており、平成21年は前回に比べ4.0%減の386,600頭となった。一戸あたりの飼養頭数は年々増加していたが、平成21年は、ほぼ横ばいとなり2,371頭となった。

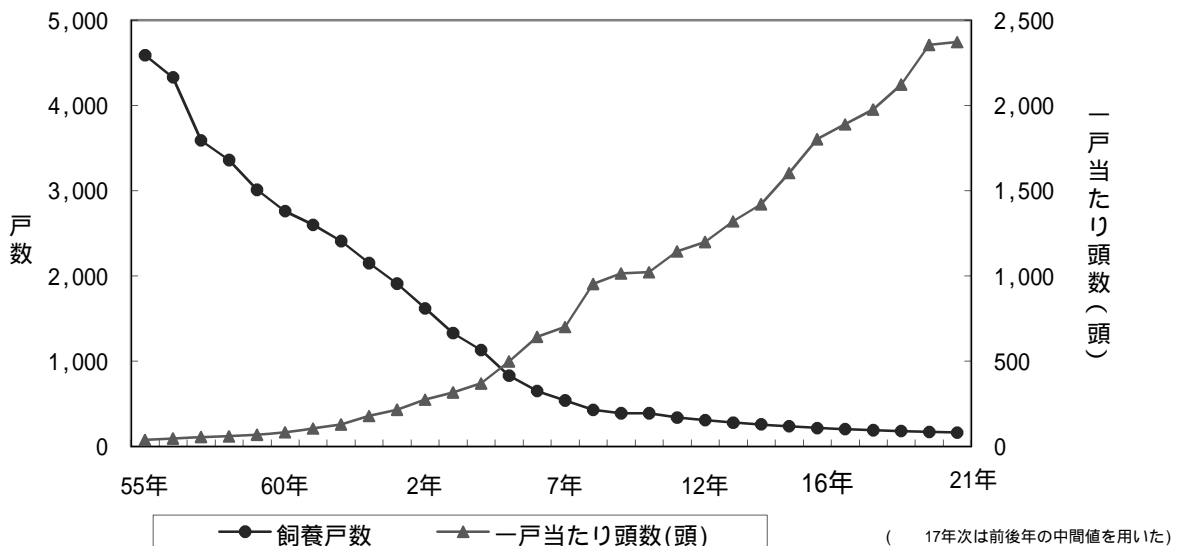
(単位:戸、頭)

区 分		飼 養 戸 数		飼 養 頭 数		一戸当たり 頭数
			子取り用めす豚		子取り用めす豚	
青森県	昭55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39.1
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83.2
	平 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	274.8
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	545.2
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200.0
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802.3
19.2.1	青森	182	159	386,400	32,900	2,123.1
	全国	7,550	6,560	9,759,000	915,000	1,292.6
20.2.1	青森	171	153	402,800	35,600	2,355.6
	全国	7,230	6,250	9,745,000	910,100	1,347.9
21.2.1	青森	163	142	386,600	34,000	2,371.8
	全国	6,890	5,950	9,899,000	936,700	1,436.7

平成17年、22年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

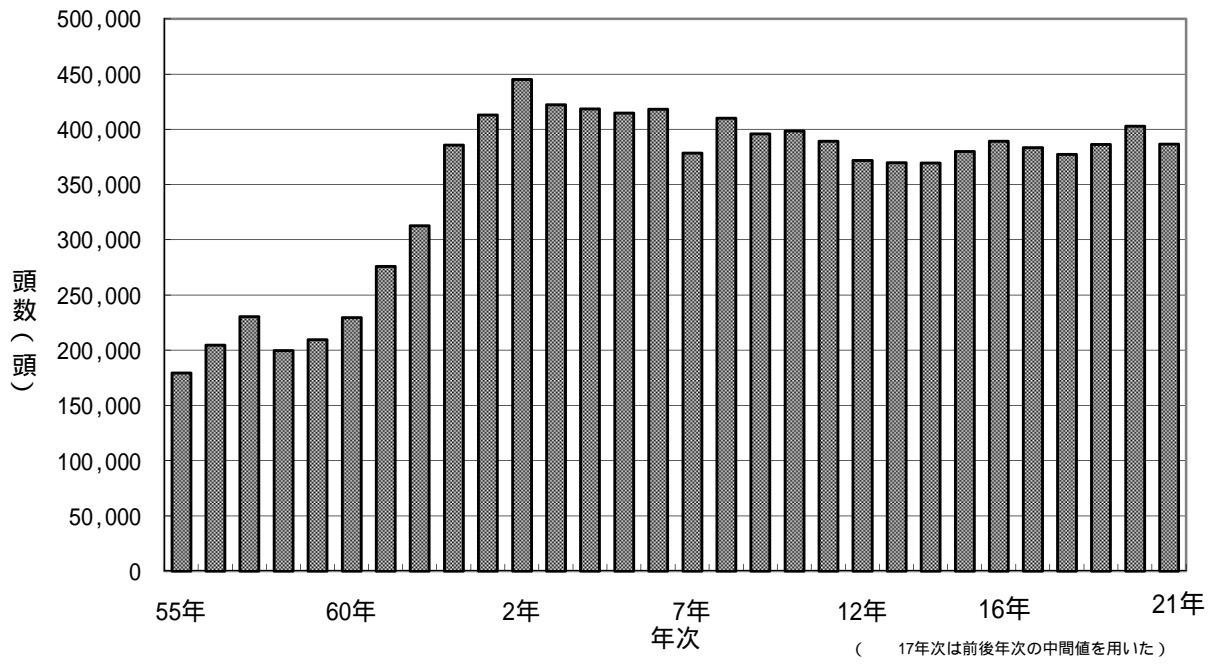
資料：畜産統計

飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



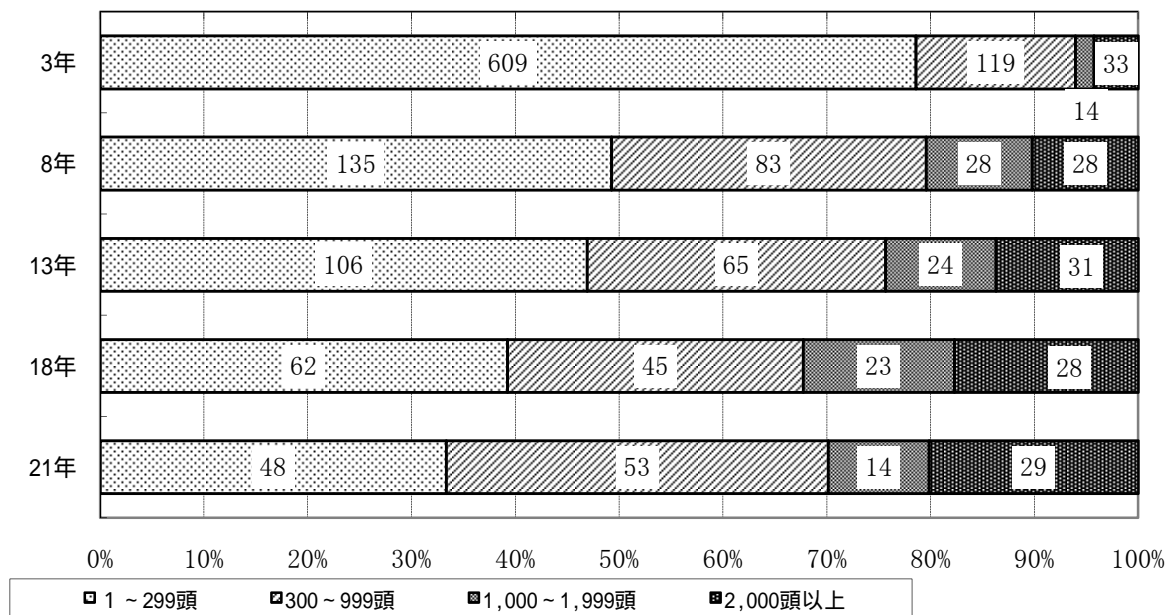
資料：畜産統計

飼養頭数の推移



資料：畜産統計

頭数規模別飼養戸数とその割合 (肥育豚)



資料：畜産統計

4) 採卵鶏

飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年減少傾向であり、平成21年は対前年2戸減の29戸であった。

飼養羽数は、平成21年は前年に比べ6.5%増の6,267千羽となった。一戸あたりの飼養羽数は全国平均の約3.8倍にあたる169,300羽と全国一の規模となっている。

(単位:戸、千羽)

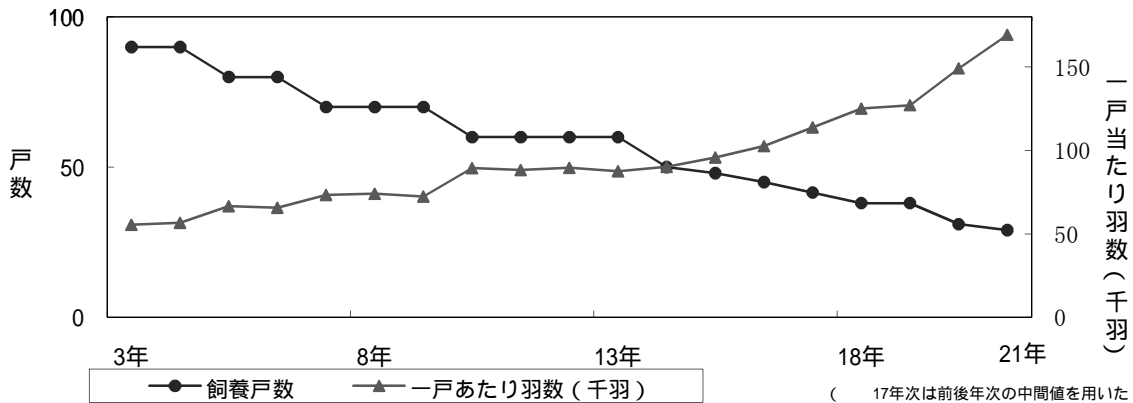
区分	飼養戸数	飼養羽数(採卵鶏)			一戸あたり 成鶏めす羽数 (種鶏除く)	
		計	成鶏めす	ひな		
青森県	昭55.2.1	770	3,743	3,321	419	4.4
	60.2.1	890	4,798	3,545	1,253	4.0
	平 2.2.1	590	5,376	4,066	1,310	6.9
	7.2.1	60	5,641	4,402	1,239	73.4
	12.2.1	50	5,747	4,479	1,268	89.6
	16.2.1	45	5,711	4,617	1,094	102.6
19.2.1	青森	38	6,088	4,828	1,260	127.1
	全国	3,460	183,224	142,765	40,459	41.3
20.2.1	青森	31	5,884	4,624	1,260	149.2
	全国	3,300	181,664	142,523	39,141	43.2
21.2.1	青森	29	6,267	4,910	1,357	169.3
	全国	3,110	178,208	139,910	38,298	45.0

平成17年、22年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

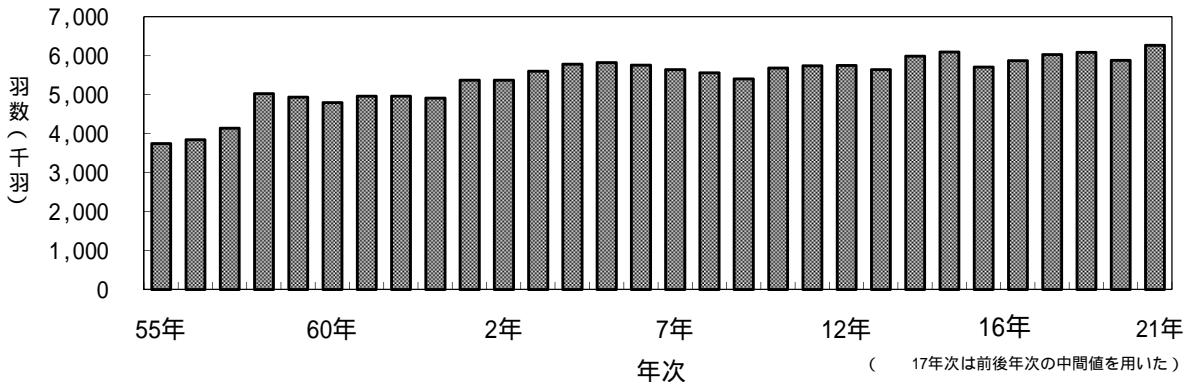
飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成3年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。

飼養戸数及び一戸あたりの飼養羽数の推移

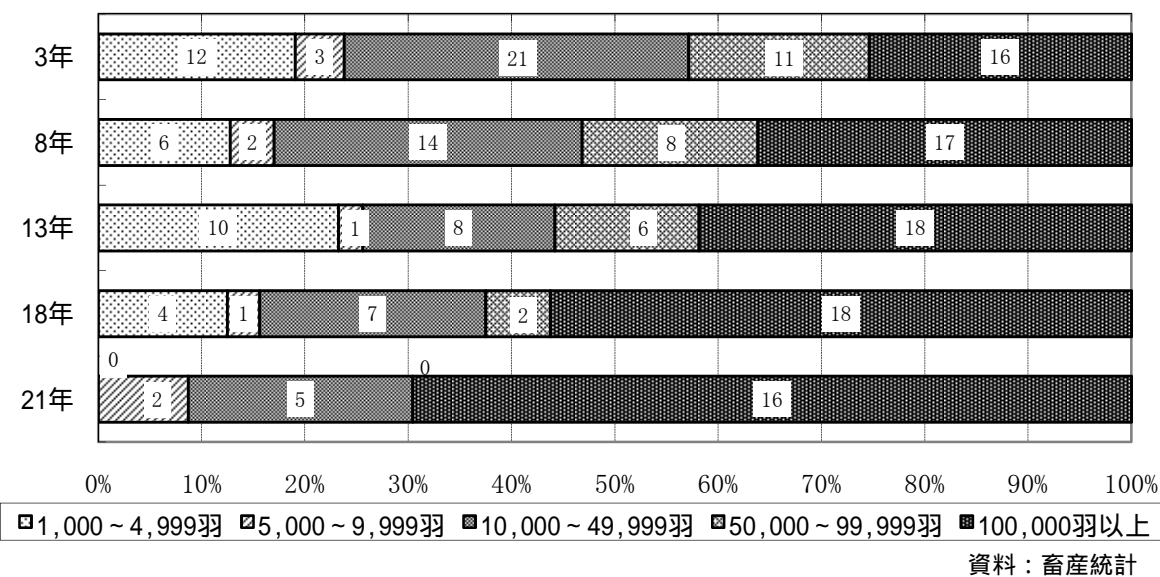


資料：畜産統計

飼養羽数の推移



羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



5) ブロイラー

飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数はここ数年50～60戸で推移しており、平成21年は対前年比5戸増の58戸であった。
飼養羽数は、平成21年は前年に比べ7.1%増の6,105千羽となった。一戸あたりの飼養羽数は全国平均の2.4倍にあたる105,300羽となっている。

（単位：戸、千羽）

区分	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年	
青森県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	56	53	58
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	5,861	5,699	6,105
	一戸当たり羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	104.7	107.5	105.3
全国	飼養戸数	-	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,583	2,456	2,392
	飼養羽数	-	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	105,287	102,987	107,141
	一戸当たり羽数	-	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	40.8	41.9	44.8

資料：食鳥流通統計

6) その他

(1) 馬

軽種馬

(単位:戸、頭)

区 分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	60	55	53
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	520	456	438

資料：県畜産課調査

軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区 分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	160	141	136
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,287	1,275	1,436

資料：県畜産課調査

(2) めん羊

(単位:頭)

区 分	55年	60年	2年	6年	12年	17年	19年	20年	21年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	111	94	81

21年は明け2才以上の頭数。

資料：家畜改良関係資料（6年以前は畜産統計）

(3) 山羊

(単位:頭)

区 分	55年	60年	2年	6年	12年	17年	19年	20年	21年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	43	46	27

21年は明け2才以上の頭数。

資料：家畜改良関係資料（6年以前は畜産統計）

(4) みつばち

(単位:戸、群)

区 分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年	22年
飼養戸数	169	160	118	96	92	75	80	82	76
飼養群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	-	6,906	5,677

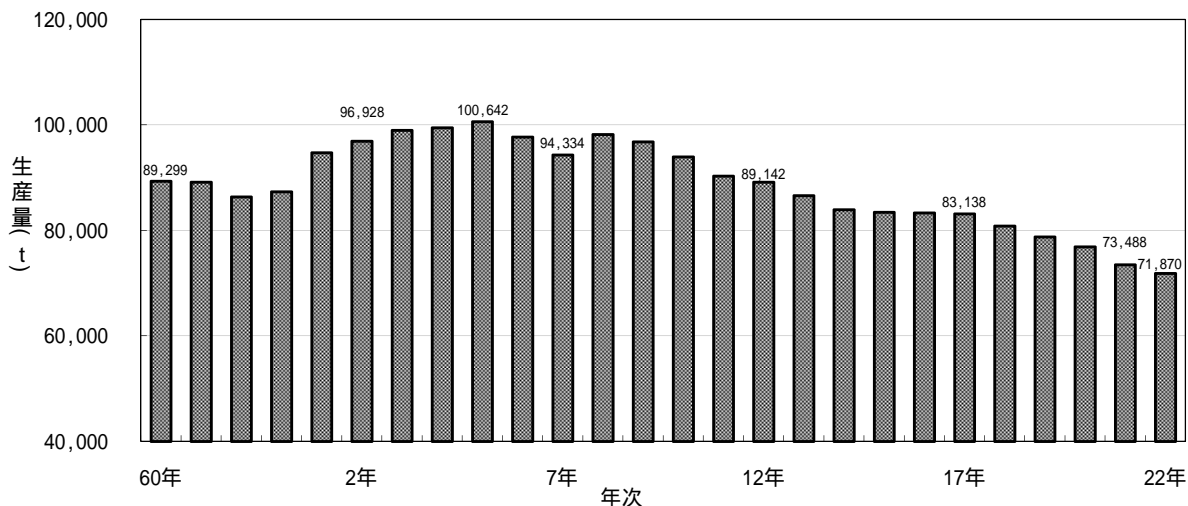
資料：県畜産課調査

第4章 畜産物の流通と価格

1) 牛 乳

(1) 生乳生産量の推移

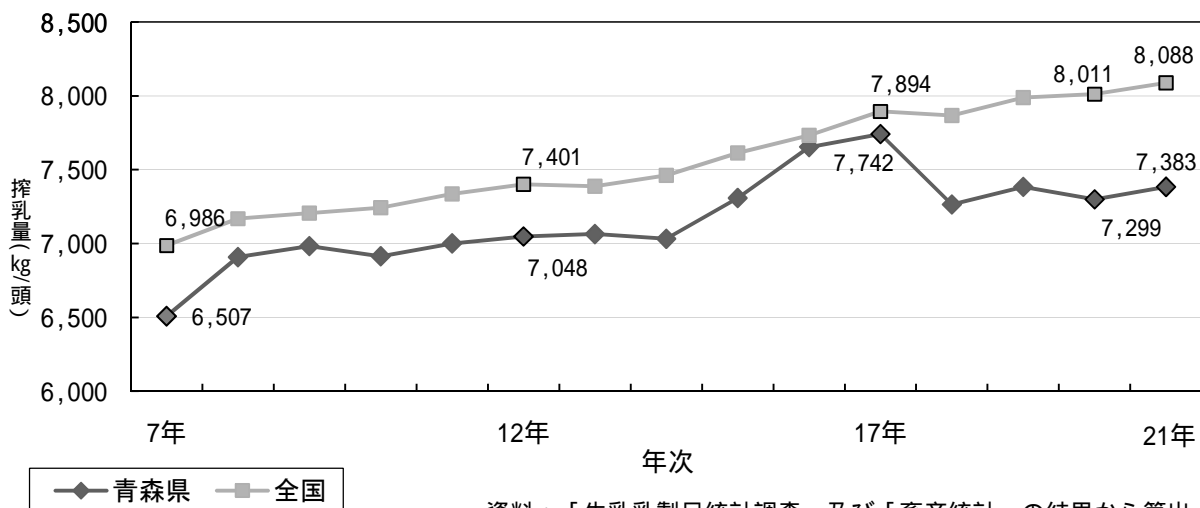
平成22年の生乳生産量は71,870tとなり、前年より1,618t減少した（対前年比2.2%減）。



資料：牛乳乳製品統計(21年、22年は速報値)

(2) 経産牛1頭当たり年間搾乳量の推移

本県の平成21年の経産牛1頭当たり年間搾乳量は、7,383kg/頭となった。



資料：「牛乳乳製品統計調査」及び「畜産統計」の結果から算出。

(3) 生乳の価格

(単位:円)

乳価	年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年
プール乳価 (補給金含む)		101.37	101.4	88.27	84.06	81.44	82.97	85.06	91.99

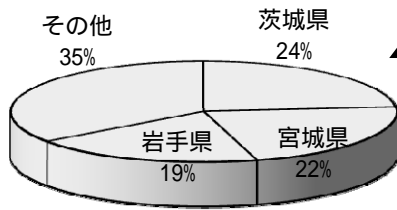
14年度以降は運賃も含む

資料：全農青森県本部調査

(4) 生乳の流通経路 (20年次)



生乳・移出 (t)



茨城県	15,561t
宮城県	14,424t
岩手県	12,811t
その他	23,054t
合計	65,850t

県内生乳生産量
76,873t

(85.7%)
↓
(14.3%)
11,023t
(100.0%)

生乳処理量
11,023t

飲用牛乳等向け
10,626t
(96.4%)

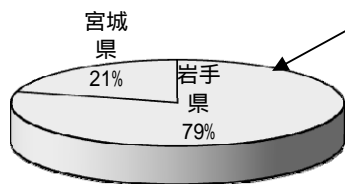
乳製品向け
25t
(0.2%)

その他向け
372t
(3.4%)

生産量

飲用牛乳等 10,704kl		その他 375kl	
牛乳 9,894kl	加工乳・成分調整乳 810kl	乳飲料 40kl	はっ酵乳 335kl
うち学乳 3,669kl			

飲用牛乳等・移出 (kl)

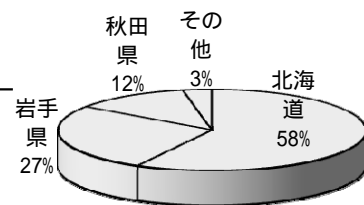


岩手県	57kl
宮城県	15kl
合計	72kl

(0.7%)
↓
(99.3%)

10,632kl
(46.1%)
↓
(53.9%)
飲用牛乳等
県内推定出回り量
23,061kl

飲用牛乳等・移入 (kl)



北海道	7,212kl
岩手県	3,319kl
秋田県	1,523kl
その他	375kl
合計	12,429kl

2) 肉用牛

(1) 子牛の取引頭数

平成21年の子牛の取引頭数は14,365頭（対前年比5.7%減）と前年より863頭減少した。

（単位：頭）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年
子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,068	7,385
	乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	8,160	6,980
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	15,228	14,365
成牛		7,736	10,680	8,839	9,257	8,152	3,679	2,319	2,441

資料：県畜産課調査

(2) 子牛の価格（県家畜市場）

黒毛和種の子牛価格は、配合飼料価格の高騰や牛肉消費低迷の影響を受けた枝肉価格の低落などにより、409千円（対前年比13.9%減）と前年を大幅に下回った。

（単位：千円）

		55年		60年		2年		7年	12年	17年	20年	21年
		春	秋	春	秋	春	秋	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月
平均価格（消費税抜き）		267	284	161	205	330	260	241	337	462	471	403
品別	日本短角種	272	277	177	205	273	187	127	107	209	270	201
	黒毛和種	285	305	157	206	355	318	279	355	470	475	409
	交雑種	-	-	-	-	-	283	183	186	263	166	164

資料：県畜産課調査

< 参考 > 指定肉用子牛取引状況

区分		青森県				全国			
		取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成20年	6,279	292	465,893	1,598	376,036	278	415,484	1,493
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成22年	6,516	293	398,672	1,363	352,143	279	376,503	1,349
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成20年	58	254	256,906	1,011	904	240	207,896	867
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成22年	52	275	169,110	615	1,131	239	123,988	519

指定肉用子牛：肉用子牛生産安定等特別措置法で定められる規格内の子牛

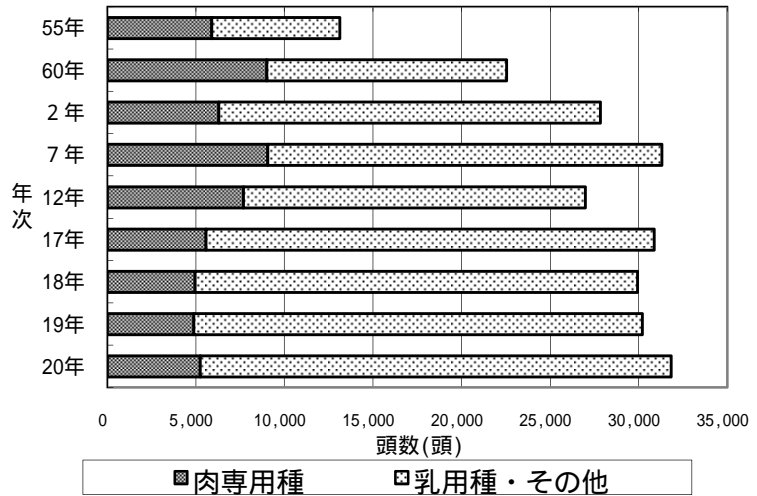
資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

(3) 肉用牛(成牛)の出荷頭数の推移

平成20年の出荷頭数は、31,808頭(対前年比5.3%増)となり、種類別内訳は乳用種及びその他83.5%、肉用種16.5%となっている。

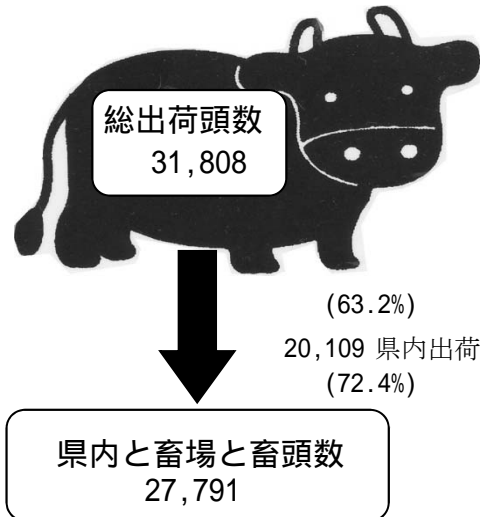
(単位：頭)

	肉専用種	乳用種・その他	合計
55年	5,898	7,221	13,119
60年	9,003	13,526	22,529
2年	6,283	21,545	27,828
7年	9,045	22,243	31,288
12年	7,671	19,305	26,976
17年	5,563	25,305	30,868
18年	4,948	24,977	29,925
19年	4,887	25,307	30,194
20年	5,237	26,571	31,808



資料：畜産物流通統計

(4) 肉用牛の流通(20年次、単位：頭)



県外へ出荷
11,699
(36.8%)

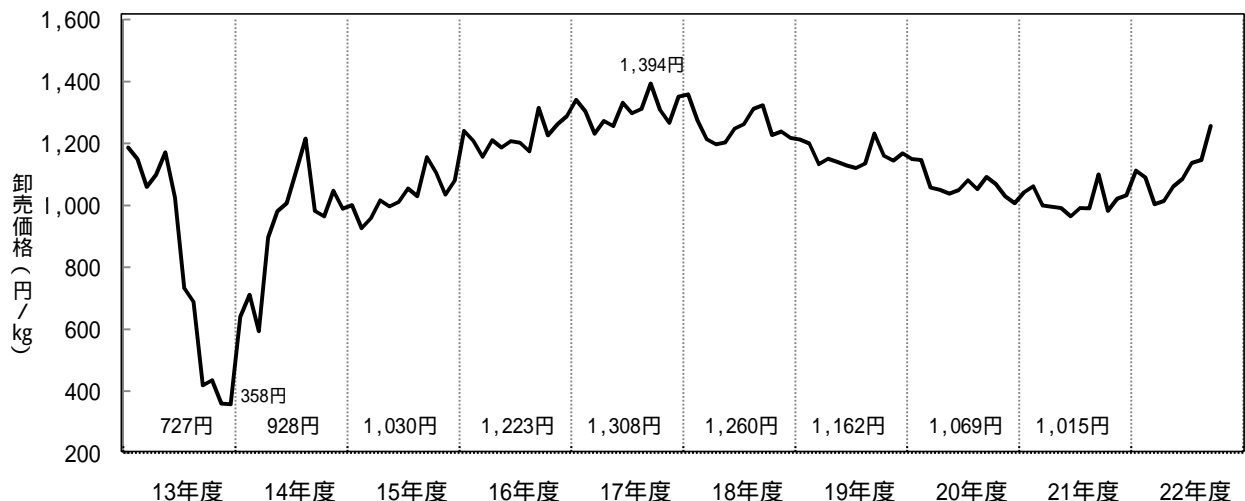
	内 訳	割 合
東京都	3,182	27.2%
宮城県	3,138	26.8%
岩手県	1,984	17.0%
その他	3,395	29.0%

県外からの
生体移入
7,682
(24.2%)

	内 訳	割 合
岩手県	3,478	45.3%
宮城県	1,772	23.1%
福島県	1,412	18.4%
その他	1,020	13.3%

資料：畜産物流通統計

(5) 牛枝肉の卸売価格の推移(東京市場 省令価格)



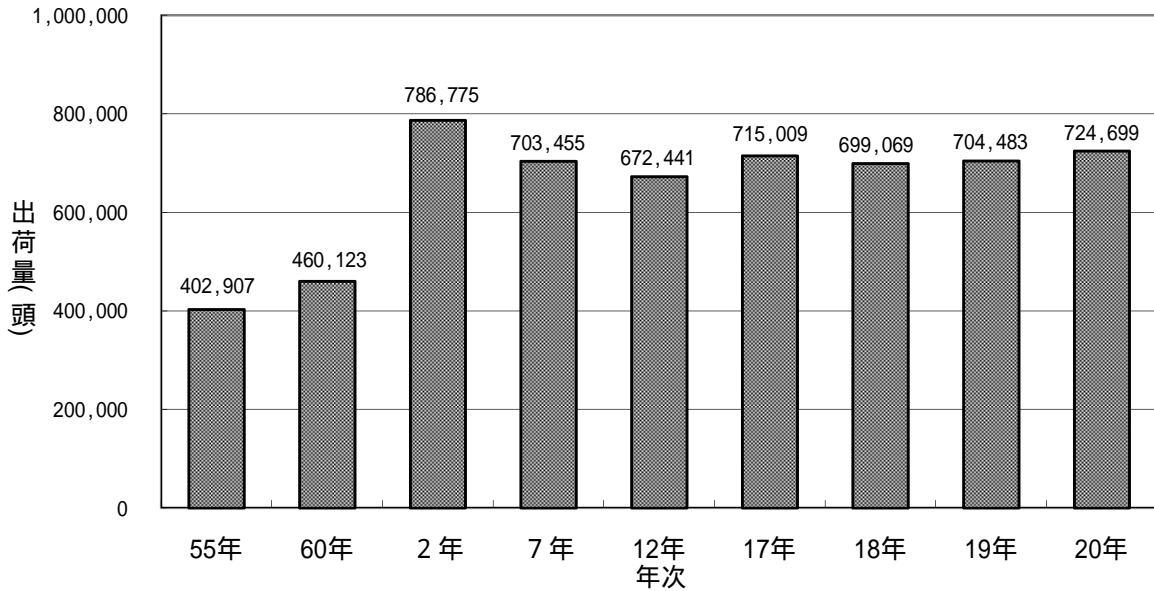
省令規格とは、去勢牛の「B-2」「B-3」を合わせたもの。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

3) 豚

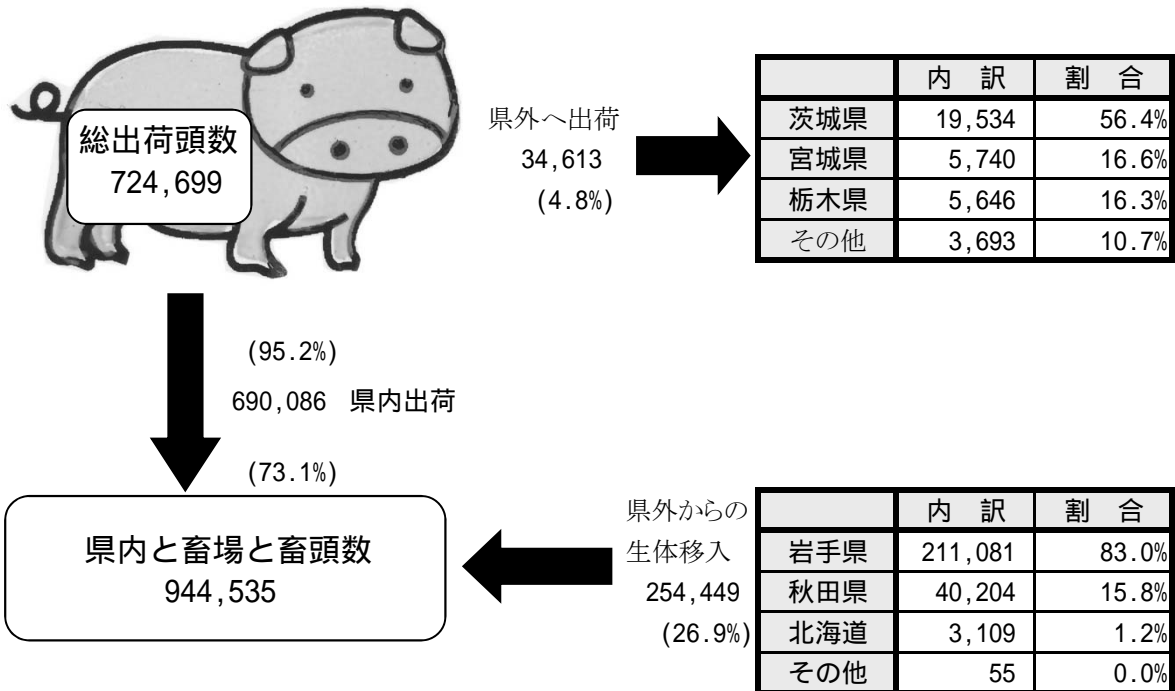
(1) 肉豚の出荷頭数の推移

平成20年の肉豚の出荷頭数は724,699頭（対前年比2.9%増）となり、前年より20,216頭増加した。



資料：畜産物流通統計

(2) 肉豚の流通（20年次、単位：頭）



資料：畜産物流通統計

(3) 子豚の価格

(単位：円/頭)

区分 \ 年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年
子豚	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	22,264	15,797

17年までは三本木産地家畜市場、18年以降はおいらせ農協産地家畜市場における平均子豚価格。

資料：県畜産課調査

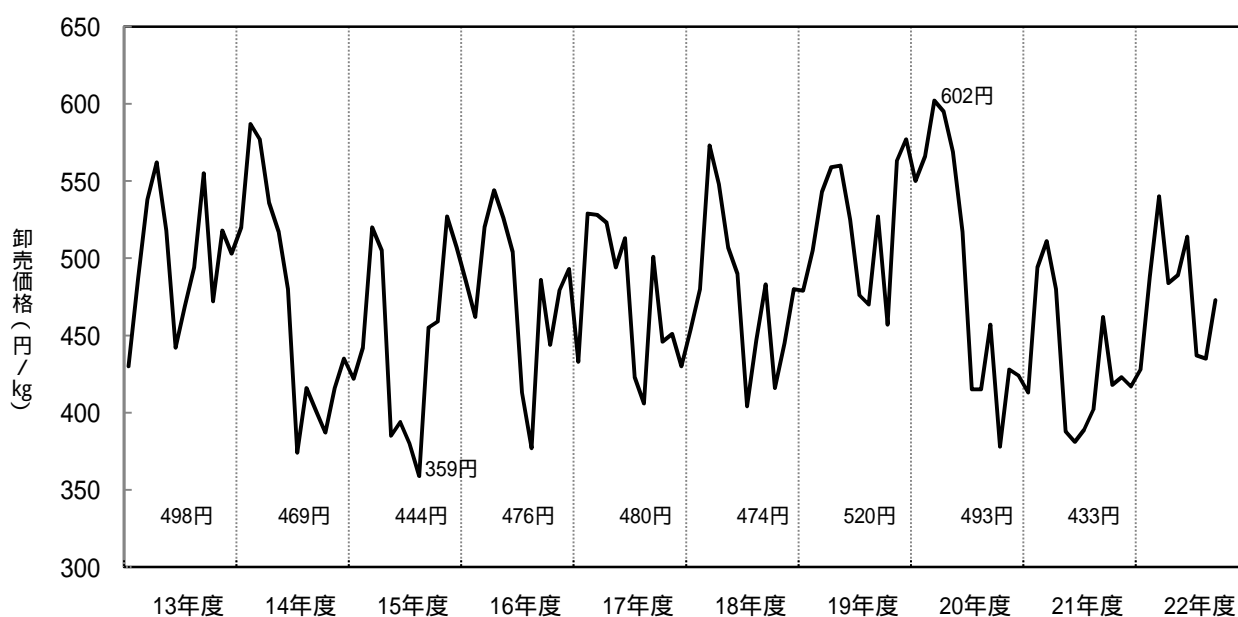
(4) 豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

(単位：円/kg)

規格 \ 年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
豚「省令規格」	628	601	486	458	436	480	498	523

資料：畜産物流通統計

<参考> 豚枝肉の卸売価格の直近の動き



省令規格とは、極上・上・中・並・等外の規格のうち、「上」規格以上のものを指す。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

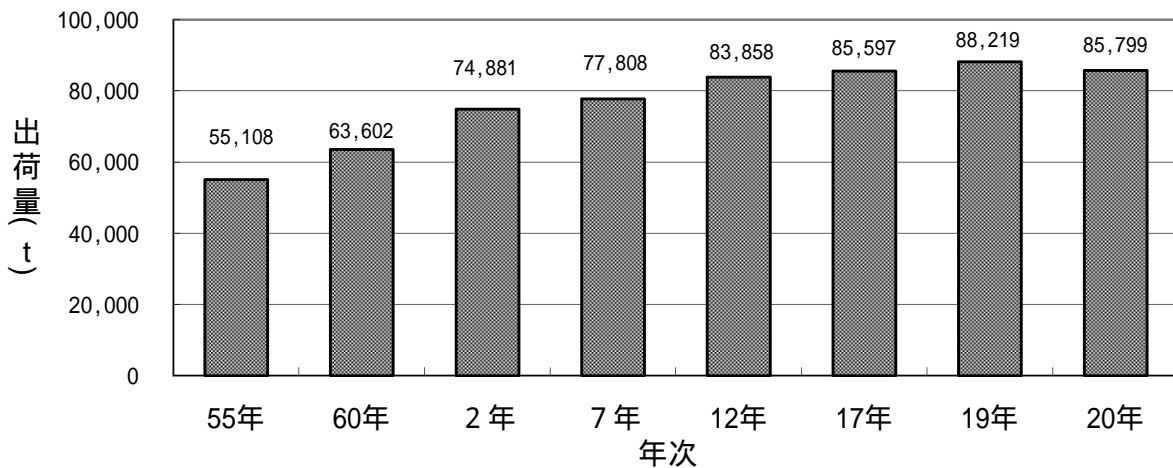
4) 鶏 卵

(1) 鶏卵の生産量・出荷量の推移

平成20年の鶏卵の生産量は87,520t（対前年比2.7%減）となり、出荷量は85,799t（対前年比2.8%減）となった。

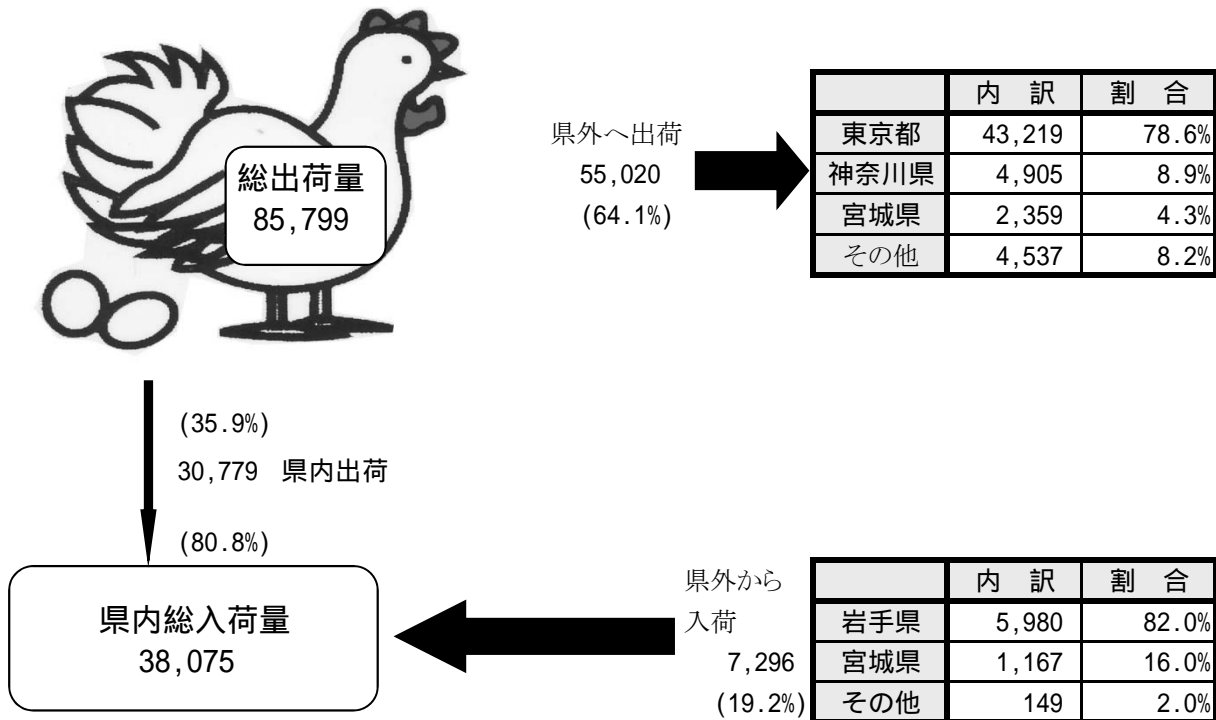
（単位：t）

	55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	89,935	87,520
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	88,219	85,799



資料：畜産物流通統計

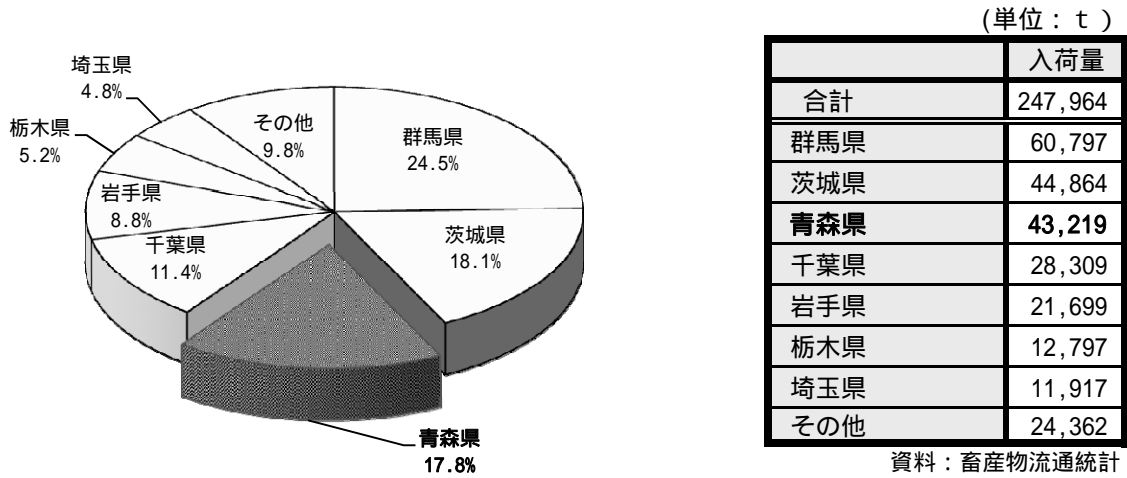
(2) 鶏卵の流通（20年次、単位：t）



資料：畜産物流通統計

(3) 東京市場入荷量に占める県産鶏卵の割合(20年次)

東京市場入荷量は、本県産が全国で3番目であり、43,751tと全体の17.8%を占める。



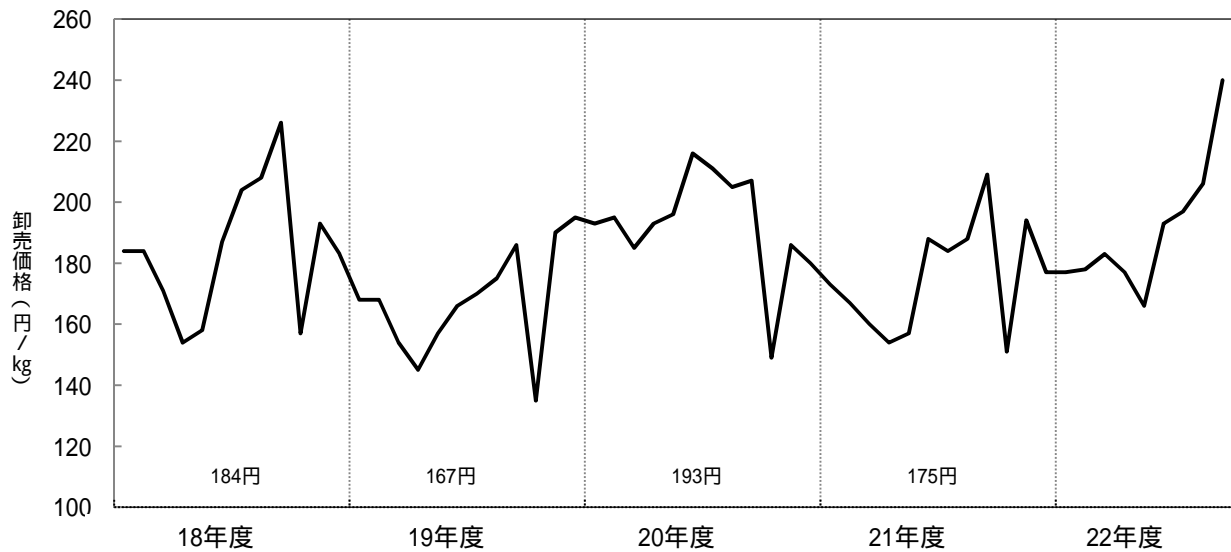
(5) 鶏卵の卸売価格(東京市場 規格「M」)

(単位: 円/kg)

規格 \ 年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年	21年
規格「M」	300	269	229	188	189	186	167	193	175

資料: 全農畜産販売部情報
(平成8年まで畜産物流通統計)

鶏卵卸売価格の直近の動き(東京市場 規格「M」)

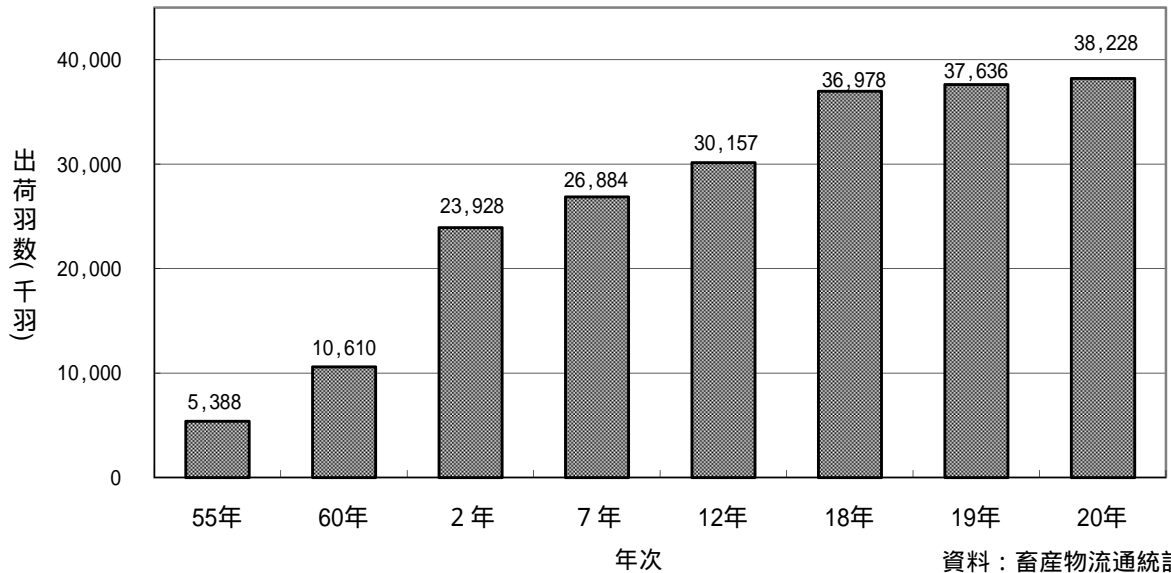


資料: 全農畜産販売部情報

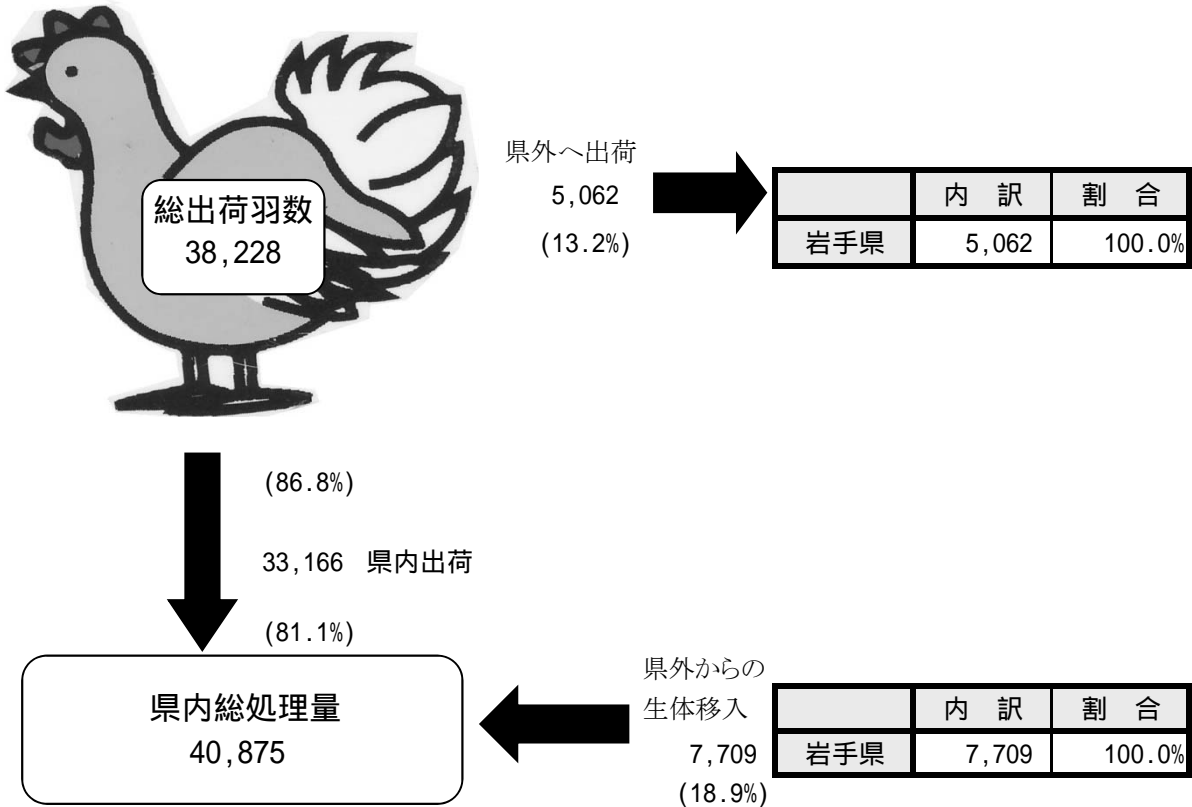
5) プロイラー

(1) プロイラー出荷羽数の推移

平成20年の出荷羽数は、38,228千羽（対前年比1.6%増）となり、引き続き増加傾向にある。



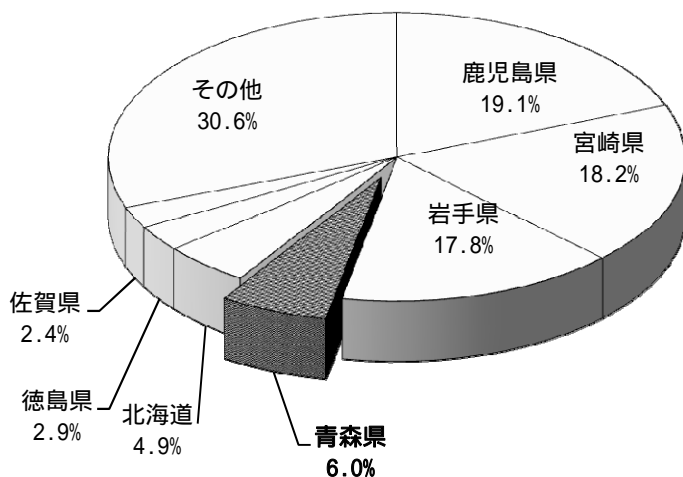
(2) プロイラーの流通（20年次、単位：千羽）



資料：畜産物流通統計

(4) プロイラーの都道府県別出荷羽数の構成割合(20年次、単位：千羽)

青森県は、プロイラーの出荷羽数は全国4位で、全体の6.0%を占めている。



(単位：羽)

	出荷羽数
合計	629,766
鹿児島県	120,405
宮崎県	114,878
岩手県	98,668
青森県	38,228
北海道	30,929
徳島県	18,541
佐賀県	15,360
その他	192,757

資料：畜産物流通統計

6) 畜産物支出金額、購入数量

平成21年 世帯1人当たり支出金額、購入数量

(単位：円、g、本)

区 域	区分	消費支出	食料費	畜産物					
				牛乳	卵	牛肉	豚肉	鶏肉	生鮮魚介
青森市 (世帯人数3.2人)	支出金額	975,989	266,106	4,174	2,175	3,845	8,008	3,195	19,031
	購入数量			110	10,584	1,610	7,421	4,205	19,364
全 国 (世帯人数3.11人)	支出金額	1,125,675	288,144	5,328	2,748	6,302	7,747	3,942	16,186
	購入数量			137	9,967	2,261	5,993	4,388	11,664

牛乳の購入数量は200cc本

資料：家計調査年報

第5章 畜産物の生産費と収益性

1) 生 乳

(1) 生乳生産費の推移

平成20年の生乳100kg当たりの費用合計は8,528円（対前年比10.0%増）となり、費用の内訳は流通飼料費（39.8%）と労働費（19.7%）の占める割合が高い。

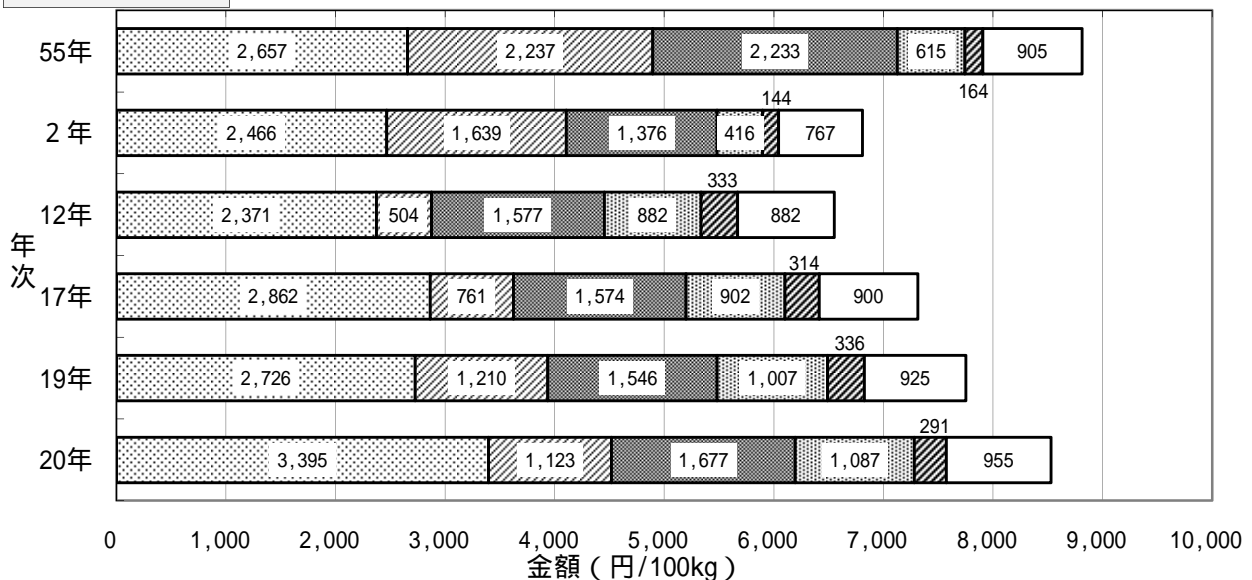
（単位：円/100kg）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	7,767	8,626
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	7,750	8,528

12年から調査期間変更

資料：農畜産物生産費統計

費用合計の内訳



全算入生産費とは

生産費 = 費用合計 - 副産物価格
 全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

(2) 生乳生産における収益性の推移

平成20年の搾乳牛1頭当たりの所得は47,245円（対前年比11.4%減）となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
収益性	所得 (搾乳牛1頭)	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	53,319	47,245
	家族労働報酬 (1日)	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	2,641	1,483

平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：農畜産物生産費統計

2) 肉用牛

(1) 子牛生産費の推移

平成20年の子牛1頭当たりの費用合計は634,363円（対前年比9.5%減）となり、費用の内訳は労働費（32.6%）と流通飼料費（25.9%）の占める割合が高い。

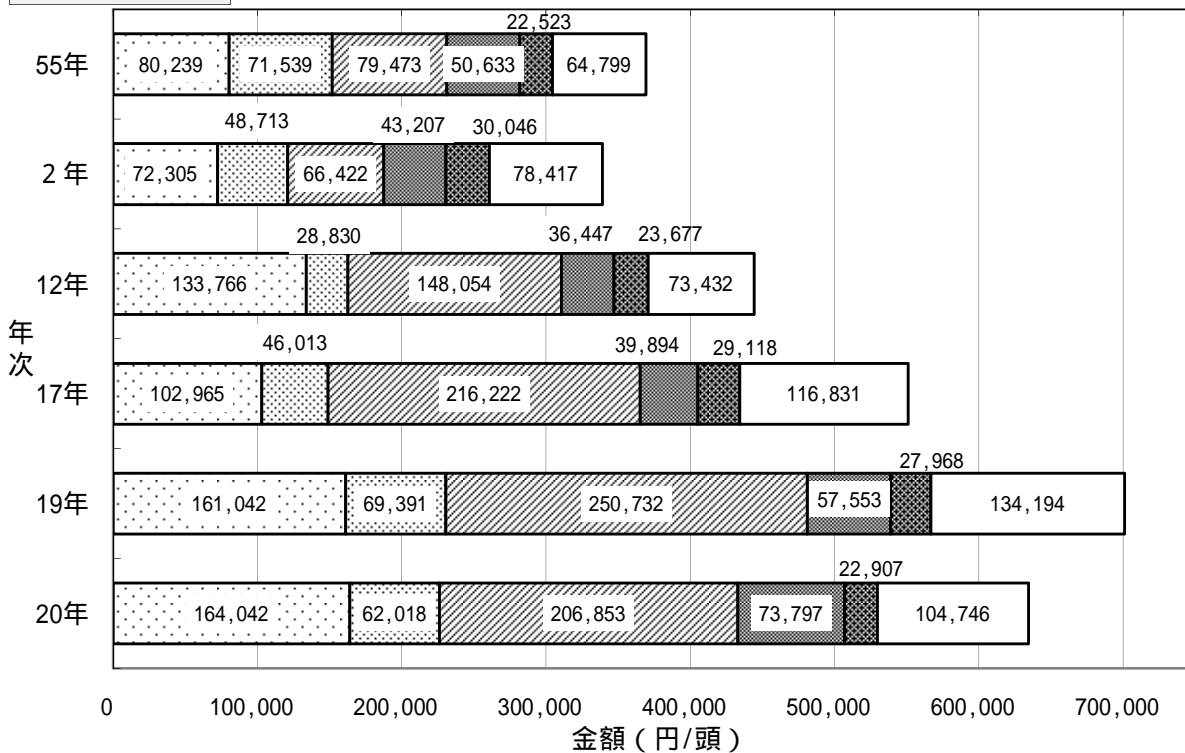
（単位：円/頭）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	866,664	788,416
	費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	700,880	634,363

12年から調査期間変更

資料：農畜産物生産費統計

費用合計の内訳



□流通飼料費 □牧草・放牧・採草費 □労働費 ■繁殖めす牛償却費 ■賃借料及び料金 □その他

(2) 子牛生産における収益性の推移

平成20年の子牛1頭当たりの所得は 42,520円となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
収益性	所得 (子牛1頭)	42,251	78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	31,850	42,520
	家族労働報酬 (1日)	21,114	15,064	15,894	3,586	637	1,526	-	-

平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：農畜産物生産費統計

(3) 肥育牛（去勢若齢）生産費の推移

平成20年の肥育牛1頭当たりの費用合計は921,873円（対前年比2.0%増）となり、費用の内訳は、もと畜費（48.5%）と流通飼料費（28.1%）の占める割合が高い。

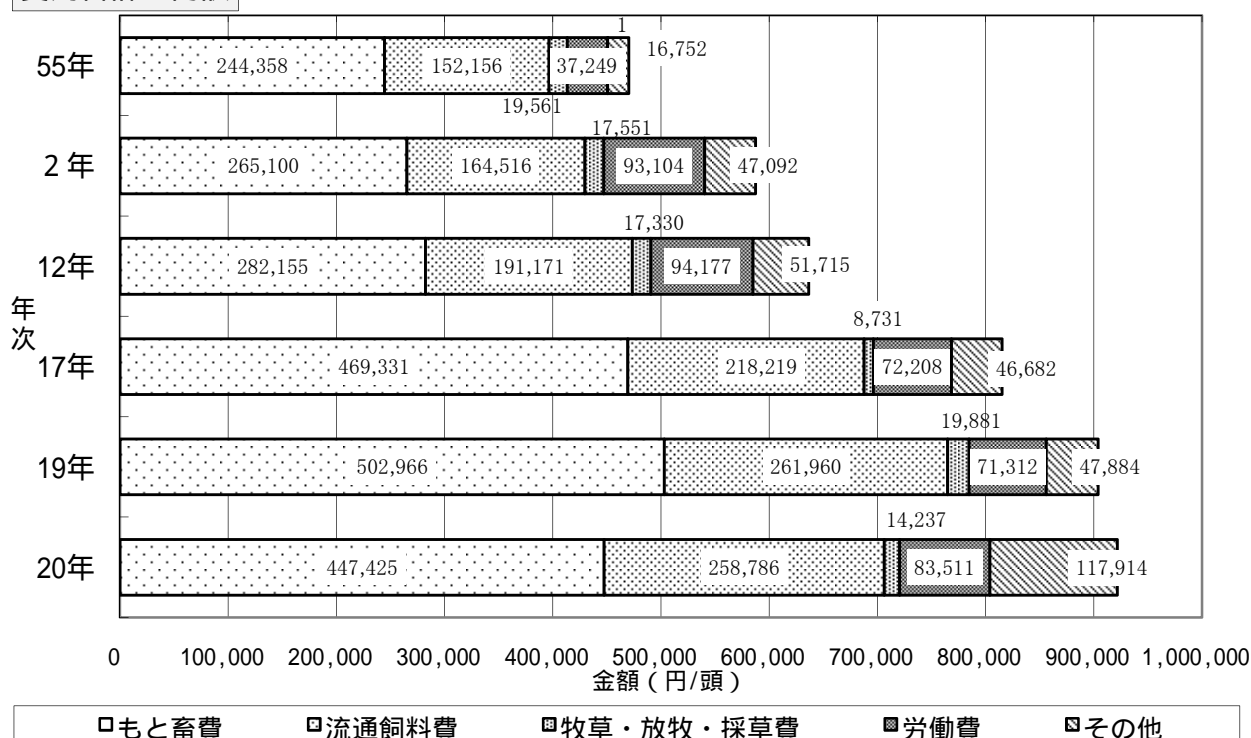
（単位：円/頭）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	929,985	967,449
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	904,003	921,873

平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

資料：農畜産物生産費統計

費用合計の内訳



(4) 肥育牛（去勢若齢）生産における収益性の推移

平成20年の肥育牛1頭当たりの所得は164,361円となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
収益性	所得（1頭）	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	16,185	164,361
	家族労働報酬（1日）	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	27	-

資料：農畜産物生産費統計

3) 豚

(1) 肥育豚生産費の推移

平成20年の肥育豚1頭当たりの費用合計は33,916円(対前年13.7%増)となり、費用の内訳は流通飼料費(72.9%)と労働費(7.8%)の占める割合が高い。

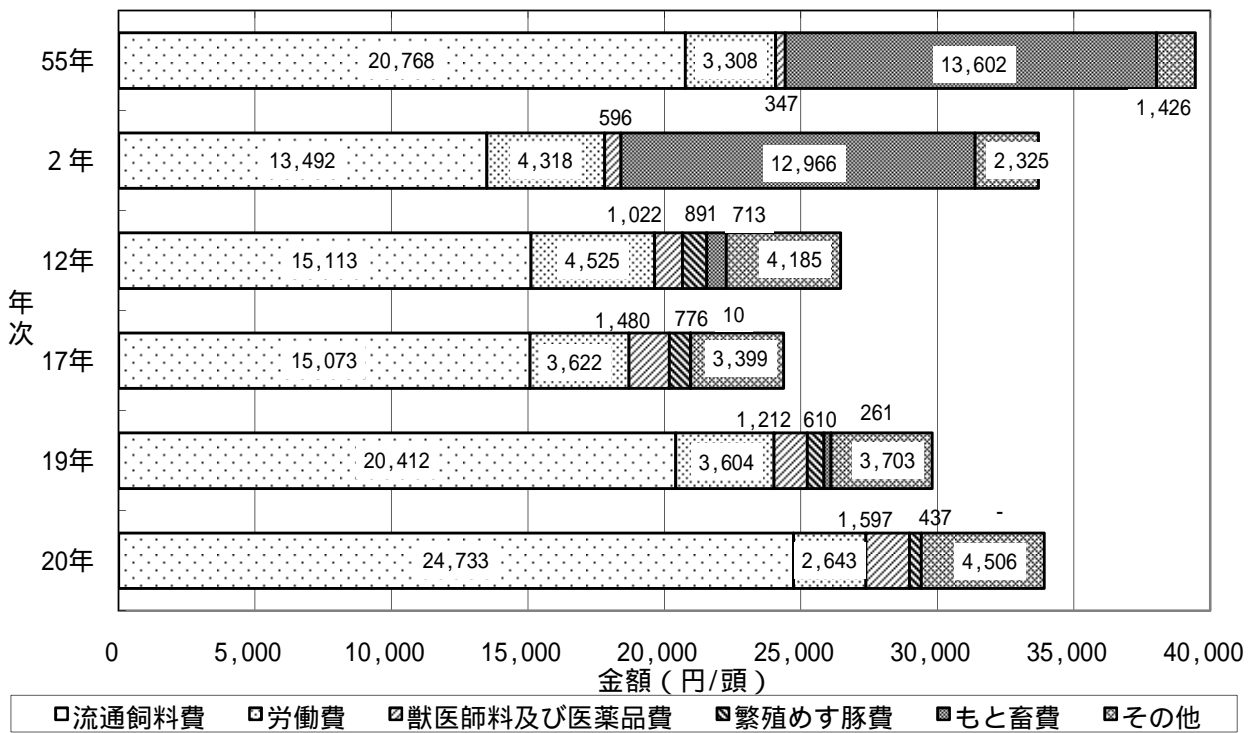
(単位:円/頭)

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
生産費	全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	29,842	34,367
	費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	29,802	33,916

資料:農畜産物生産費統計

平成5年から、調査対象農家を、肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

費用合計の内訳



(2) 肥育豚生産における収益性の推移

平成20年の肥育豚1頭当たりの所得は、1,521円となった。

(単位:円)

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	19年	20年
収益性	所得(1頭あたり)	496	1,705	317	7,000	5,314	7,420	5,638	1,521
	家族労働報酬(1日)	-	1,882	1,606	17,600	9,442	25,548	19,420	-

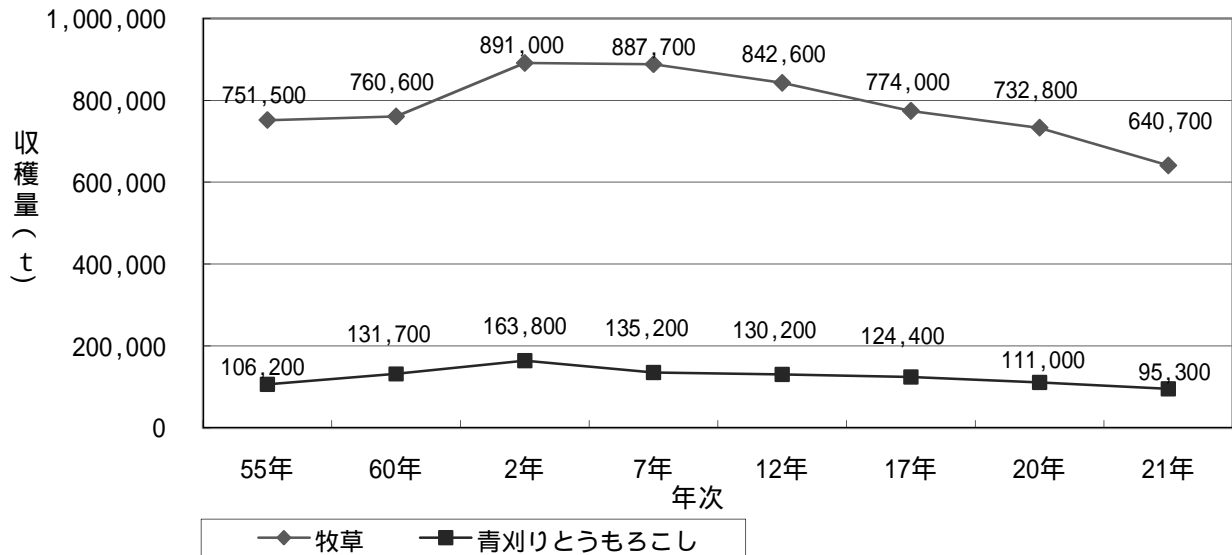
資料:農畜産物生産費統計

第6章 草地と飼料

1) 自給飼料の状況

(1) 飼料作物の収穫量

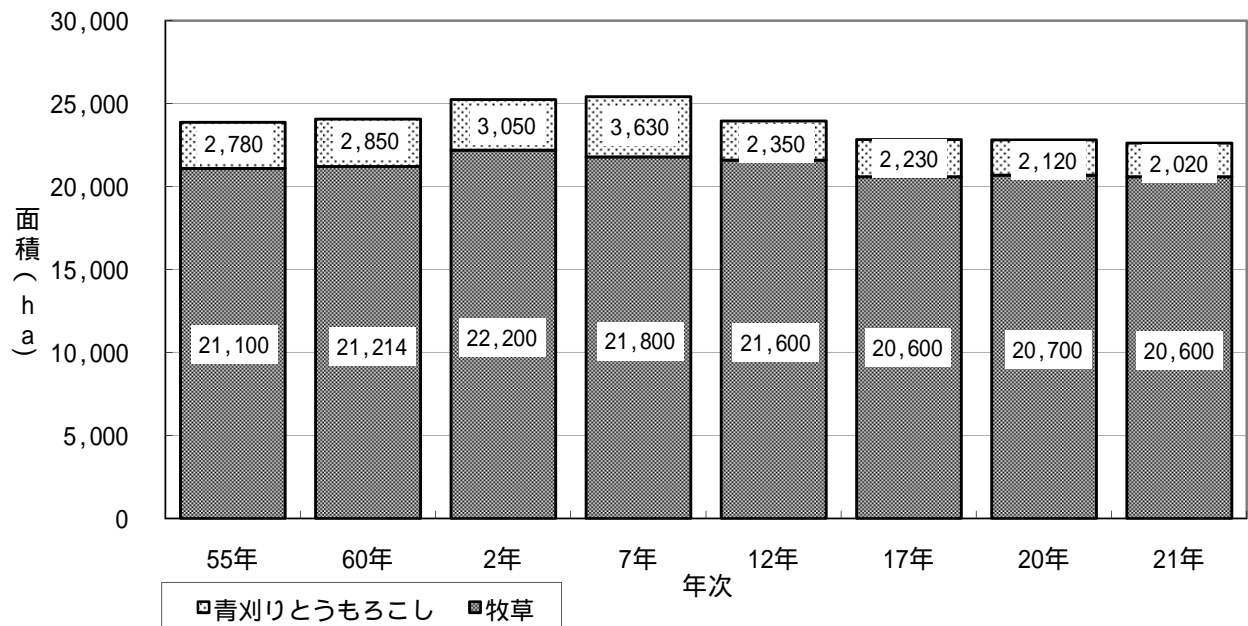
平成21年の飼料作物の収穫量は、牧草は対前年比12.6%減の640,700t、青刈りとうもろこしは対前年比14.2%減の95,300tとなった。



資料：飼料作物調査

(2) 飼料作物の作付面積

平成21年の作付面積は、牧草は0.5%減で20,600ha、青刈りとうもろこしは対前年比4.7%減の2,020haとなった。



資料：飼料作物調査

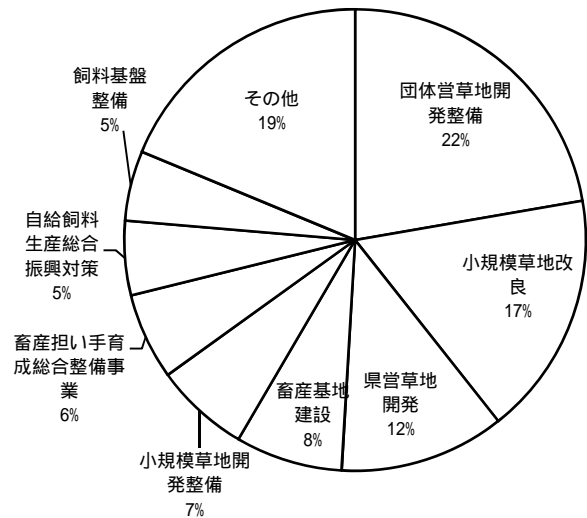
2) 草地面積

(1) 草地造成・整備面積（昭和36年～平成21年）

(単位：ha)

事業名	造成・整備面積
団体営草地開発整備事業	4,187.28
小規模草地改良事業	3,210.90
県営草地開発事業	2,177.35
畜産基地建設事業	1,410.20
小規模草地開発整備事業	1,245.61
畜産担い手育成総合整備事業	1,143.00
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00
飼料基盤整備事業	922.50
地域畜産総合対策事業	655.41
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40
共同利用模範牧場設置事業	442.80
農業公社牧場設置事業	431.41
集約牧野造成事業	368.00
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60
改良牧野造成改良事業	188.00
公共育成牧場整備事業	179.32
県営公共牧場整備事業	130.76
公共牧場機能強化事業	90.74
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	5.00
畜産環境総合整備統合補助事業	1.00
合計	18,798.63

資料：県畜産課調査



(2) 公共牧場の設置と利用状況（平成22年7月1日現在）

(単位：ha、頭)

	牧場数	面積		放牧頭数			
		うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬・羊等	
県計	99	13,259	6,882	6,534	1,026	5,420	88
東青	14	1,412	728	324		324	
中南	3	120	112	58		58	
三八	14	2,521	1,114	1,227	45	1,158	24
西北	13	1,108	683	546		546	
上北	29	5,267	2,856	3,680	947	2,686	47
下北	26	2,831	1,389	699	34	648	17

資料：県畜産課調査

(3) 水田転作による飼料作物の作付動向

(単位：ha)

項目 \ 年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	20年	21年
転作作物面積	17,672	14,851	20,797	13,949	22,907	21,032	22,433	22,655
飼料作物面積	7,953	5,591	5,928	5,387	6,219	5,155	5,201	5,167
比率 (/)	45.0%	37.6%	28.5%	38.6%	27.1%	24.5%	23.2%	22.8%

※ 飼料用米含む

資料：県農産園芸課調査

3) 配合飼料の状況

(1) 配合飼料の用途別入荷数量

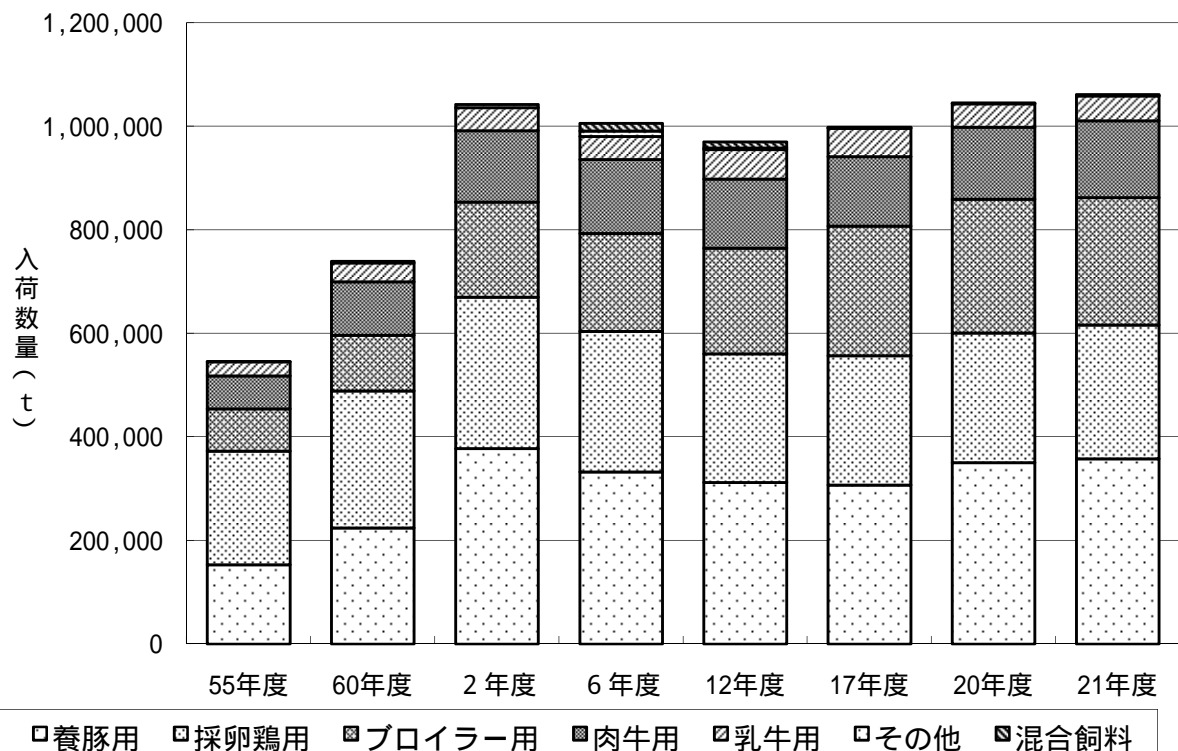
平成21年度の県内の配合飼料入荷数量は106万tで、対前年比1.4%増となった。

(単位：t)

		55年度	60年度	2年度	6年度	12年度	17年度	20年度	21年度
養鶏用	育すう	32,682	36,937	39,968	38,346	34,550	34,032	35,102	37,802
	成鶏	186,744	228,050	253,177	233,150	213,943	216,257	215,172	220,733
	ブロイラー	81,558	107,481	183,397	188,993	204,191	250,450	258,301	246,129
養豚用	子豚	95,783	146,692	233,344	199,422	162,640	142,071	154,695	157,762
	肉豚	33,521	34,176	85,149	79,536	99,296	124,349	146,255	148,816
	種豚	23,657	42,909	58,587	53,331	49,834	40,324	49,377	50,969
牛用	乳牛用	26,710	36,199	44,646	44,352	56,629	55,075	45,314	48,081
	肉牛用	64,051	103,598	138,039	143,301	133,954	134,105	139,543	148,526
その他の家畜家きん用		1,154	3,346	6,215	10,433	3,335	278	111	84
配合・混合飼料合計		545,860	739,388	1,042,522	1,005,847	970,119	998,274	1,045,358	1,061,342
うち配合飼料		512,877	718,852	1,016,583	990,864	958,372	996,941	1,043,870	1,058,902
養魚用		535	416	349	358	522	102	171	214
その他用		70	824	157	16	190	94	33	62

55～2年度の配合飼料の数量は、家畜家きん用の数量と重複している。

資料：飼料月報：飼料月報



第7章 家畜衛生

1) 家畜防疫事業の推移

家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

(単位：頭、羽、群)

事業区分		60年度	2年度	6年度	12年度	20年度	21年度		
検査事業	牛	ブルセラ病	16,155	11,473	11,625	3,819	1,386	1,830	
		結核病	16,155	11,473	11,674	3,910	1,534	1,981	
		ヨネ病	3,326	630	1,656	7,150	8,614	9,128	
		アカバネ病	1,732	1,552	1,529	1,026	492	492	
		牛白血病	1,244	1,036	1,034	617	429	483	
		牛伝染性疾病	80,754	81,386	90,303	87,534	64,767	67,036	
	馬	馬伝染性貧血	3,326	2,980	2,992	1,585	948	826	
		馬伝染性子宮炎	2,540	641	652	496	238	217	
		馬パラチフス	1,293	1,203	1,035	602	257	233	
		馬鼻肺炎	410	413	447	300	223	219	
	豚	豚オーエスキー病	1,098	6,143	4,359	4,612	5,185	5,202	
		豚コレラ					634	604	
		豚伝染性疾病	160,403	213,455	264,869	192,128	184,189	187,938	
	家きん	ニューカッスル病 (一般)	5,600	6,190	6,340	5,110	4,989	4,860	
		ニューカッスル病 (種鶏)	2,235	3,075	3,006	2,500	2,391	2,312	
		家きんサルモネラ感染症 (種鶏)	7,590	8,050	8,000	6,500	4,141	4,012	
		マイコプラズマ病 (種鶏)	8,440	8,050	8,200	6,500	4,141	4,012	
		家きん伝染性疾病	680,094	334,220	370,730	288,997	351,525	308,100	
		蜂	ふそ病	12,849	12,955	10,444	10,293	9,126	9,261
	自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎 (混合ワクチンを含む)	7,108	7,523	5,694	7,349	9,158	9,423
			アカバネ病	104	13,816	9,569	9,323	8,865	8,794
気腫疽			437	7,012	16,820	12,956	2,212	0	
牛クロストリジウム (混合)							7,161	9,372	
炭疽			0	20	0	8	0	0	
馬		馬インフルエンザ (混合ワクチンを含む)	1,546	1,320	1,492	234	528	665	
		馬鼻肺炎	539	830	442	285	254	0	
豚		豚丹毒	478,955	669,474	11,790	508,262	193,365	185,919	
		豚バルボウィルス	1,081	153	1,699	23	70	112	
		豚流行性脳炎・ 豚バルボウィルス混合	0	0	1,659	1,101	401	320	
		豚流行性脳炎	619	15,946	11,208	2,987	2,758	3,080	
鶏		ニューカッスル病	250,480	83,550	64,790	52,290	106,100	100,150	
		ニューカッスル病 伝染性気管支炎混合	66,000	29,000	13,000	36,000	53,725	50,600	

資料：県畜産課調査

2) 監視伝染病発生状況（青森県）

平成21年の家畜伝染病は、ヨーネ病の摘発があった。

（単位：頭、羽、群）

区 分		年次									
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
家畜伝染病 (法第2条)	ヨーネ病	15	32	26	31	16	22	14	13	23	12
	結核病						1				
	伝達性海綿状脳症（牛：疑似）				29						
	腐蛆病									4	
	ニューカッスル病			128							
届出伝染病 (法第4条)	牛ウイルス性下痢・粘膜病	1						1			
	牛伝染性鼻気管炎	9	8					11	5		
	牛カンピロバクター症					2					
	牛白血病	9	10	12	14	11	5	16	19	32	44
	気腫疽										1
	サルモネラ症・牛	1			2	1			11		
	サルモネラ症・豚					11	14	4			1
	ネオスポラ症	1	1								
	破傷風（牛）		1						1		
	破傷風（馬）	1									
	馬バラチフス				1						
	馬鼻肺炎					1		6			
	豚丹毒	177	94	67	102	52	73	22	41	30	150
	豚赤痢						1	2			
	鶏白血病					1		1			
	サルモネラ症・鶏									4	
	鶏伝染性気管支炎									8	
鶏痘									1		
マレック病										3	
レプトスピラ症・犬	3	1(疑症)	2		4				1		

資料：県畜産課調査

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成21年度の畜産環境汚染の発生は、22件と前年に比べ3件増加した。
原因別では「悪臭発生」に関するものが最も多く、発生件数全体の68%を占める。

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	17年度	19年度	20年度	21年度
悪臭発生	43	52	14	7	4	9	11
水質汚濁	25	19	1	4	3	2	3
水質・悪臭	11	8	2	0	5	7	2
悪臭・害虫	16	6	2	2	3	1	2
害虫発生	21	19	0	0	1	0	3
道路飛散	5	7	0	0	1	0	1
計	121	111	19	13	17	19	22

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

畜種別合計

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	17年度	19年度	20年度	21年度
豚	65	50	9	7	11	8	8
乳用牛	30	25	0	1	0	3	1
肉用牛	4	5	1	1	3	8	10
採卵鶏	21	23	9	2	3	0	3
ブロイラー	1	1	0	2	0	0	0
その他(馬)	0	7	0	0	0	0	0
計	121	111	19	13	17	19	22

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

飼養規模別件数(畜種別合計の平成21年度内訳)

(単位：件)

		悪臭発生	水質汚濁	害虫	水質・悪臭	悪臭・害虫	道路飛散
豚	1～49頭	1					
	50～499頭	3			1		
	500～999頭						
	1,000頭以上		2				1
牛	1～19頭	2	1			1	
	20～29頭						
	30～49頭						
	50～99頭				1		
	100頭以上	3		2		1	
採卵鶏	1～4,999羽						
	5,000～9,999羽	1		1			
	10,000羽以上	1					
ブロイラー	1～9,999羽						
	10,000～29,999羽						
	30,000～49,999羽						
	50,000～99,999羽						
	100,000羽以上						
その他							
計		11	3	3	2	2	1

資料：県畜産課調査

第9章 参考資料

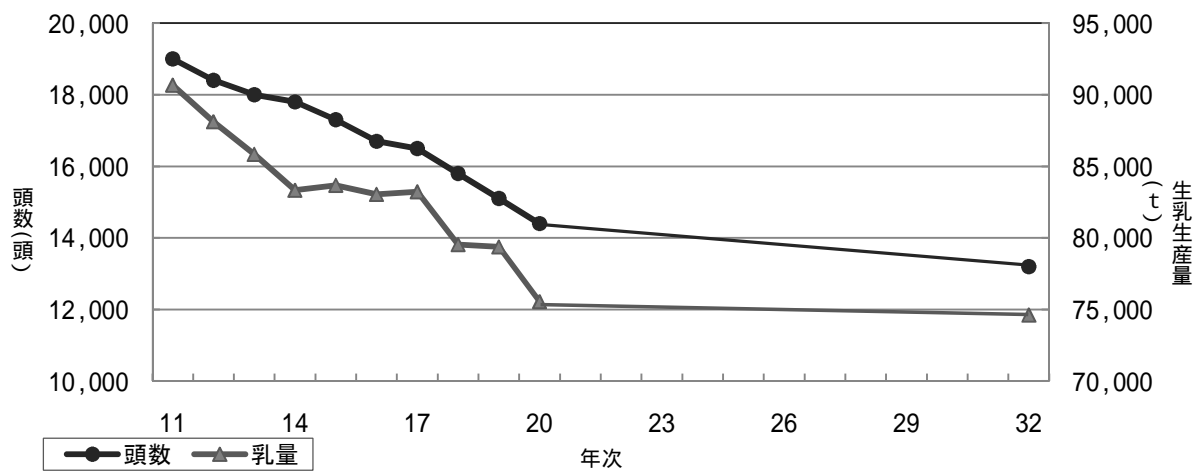
1) 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標

(1) 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標

(単位：頭、kg、t)

	総頭数 (頭)	成牛頭数 (頭)	経産牛頭数 (頭)	経産牛1頭当たり 年間搾乳量(kg)	生乳生産量 (t)
現在 (20年度)	14,400	10,400	10,100	7,299	75,548
目標 (32年度)	13,200	9,700	9,100	8,200	74,620

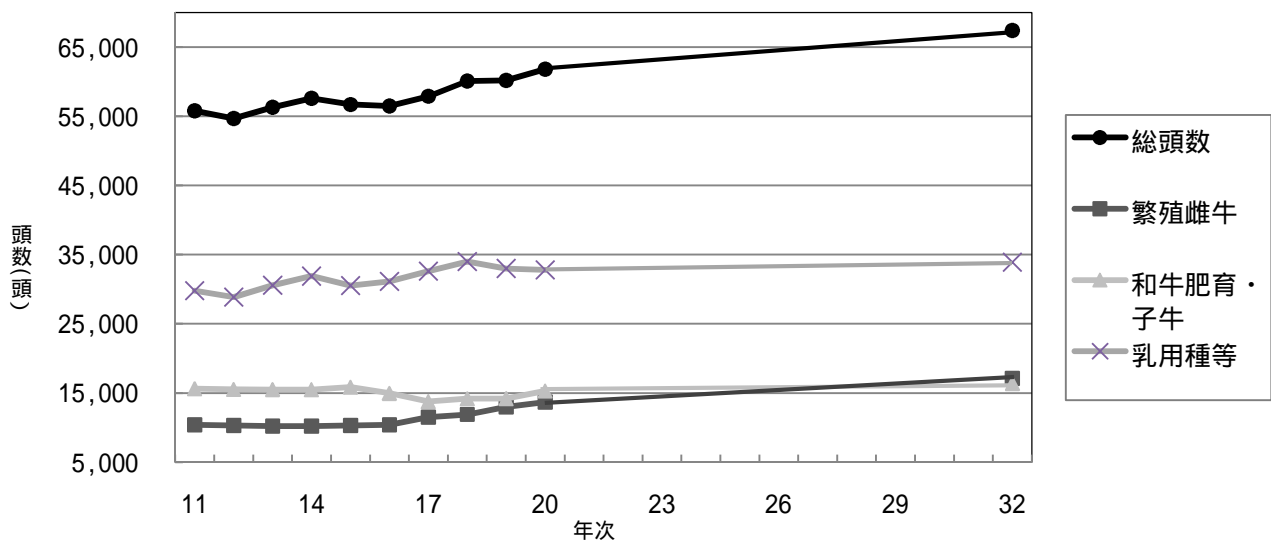
(注) 成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。



(2) 肉用牛の飼養頭数の目標

(単位：頭)

	肉用牛 総頭数	肉専用種			乳用種等			
		合計	繁殖雌牛 (育成牛含む)	肥育牛	その他	合計	乳用種	交雑種
現在 (20年度)	61,800	29,000	13,700	11,300	4,000	32,800	22,400	10,400
目標 (32年度)	67,400	33,500	17,100	11,800	4,600	33,900	22,900	11,000



2) 畜産行政組織の概要

(平成23年3月1日現在)

農 林 水 産 部

畜 産 課

	電話番号	FAX	郵便番号	住所
企画管理グループ	017-734-9495	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
経営支援グループ	017-734-9496	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
衛生・安全グループ	017-734-9498	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
飼料環境グループ	017-734-9497	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
酪農振興センター	0175-75-3059	75-2074	039-3214	六ヶ所村平沼田面木272

(青い森農林振興公社へ業務委託)

東青地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室	017-734-9961	734-8305	030-0822	青森市新町二丁目4-30
	青森家畜保健衛生所	017-764-1744	728-0335	030-0855	青森市大字合子沢字松森395-1

中南地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室	0172-33-2902	34-4390	036-8345	弘前市蔵主町4
	黒石普及分室	0172-52-4335	53-4114	036-0524	黒石市緑ヶ丘95

三八地域 県民局	地域農林水産部 畜産課	0178-27-5111(代)	23-2801	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
	農業普及振興室	0178-27-4444	27-3323	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
	三戸普及分室	0179-23-3264-6	23-3274	039-0141	三戸町川守田関根川原85-2
	八戸家畜保健衛生所	0178-27-7415-7	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2

西北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課	0173-72-6613	72-6618	038-2753	鱒ヶ沢町本町209
	農業普及振興室	0173-35-2345	33-1345	037-0046	五所川原市栄町10
	つがる普及分室	0173-42-2222	42-2272	038-3146	つがる市木造桜木9-1
	つがる家畜保健衛生所	0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2

上北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課	0176-22-8111(代)	22-9161	034-0093	十和田市西十二番町20-12
	農業普及振興室	0176-23-4281	25-7242	034-0093	十和田市西十二番町20-12
	三沢普及分室	0176-53-2498	53-8539	033-0024	三沢市東岡三沢1-1-7
	十和田家畜保健衛生所	0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23

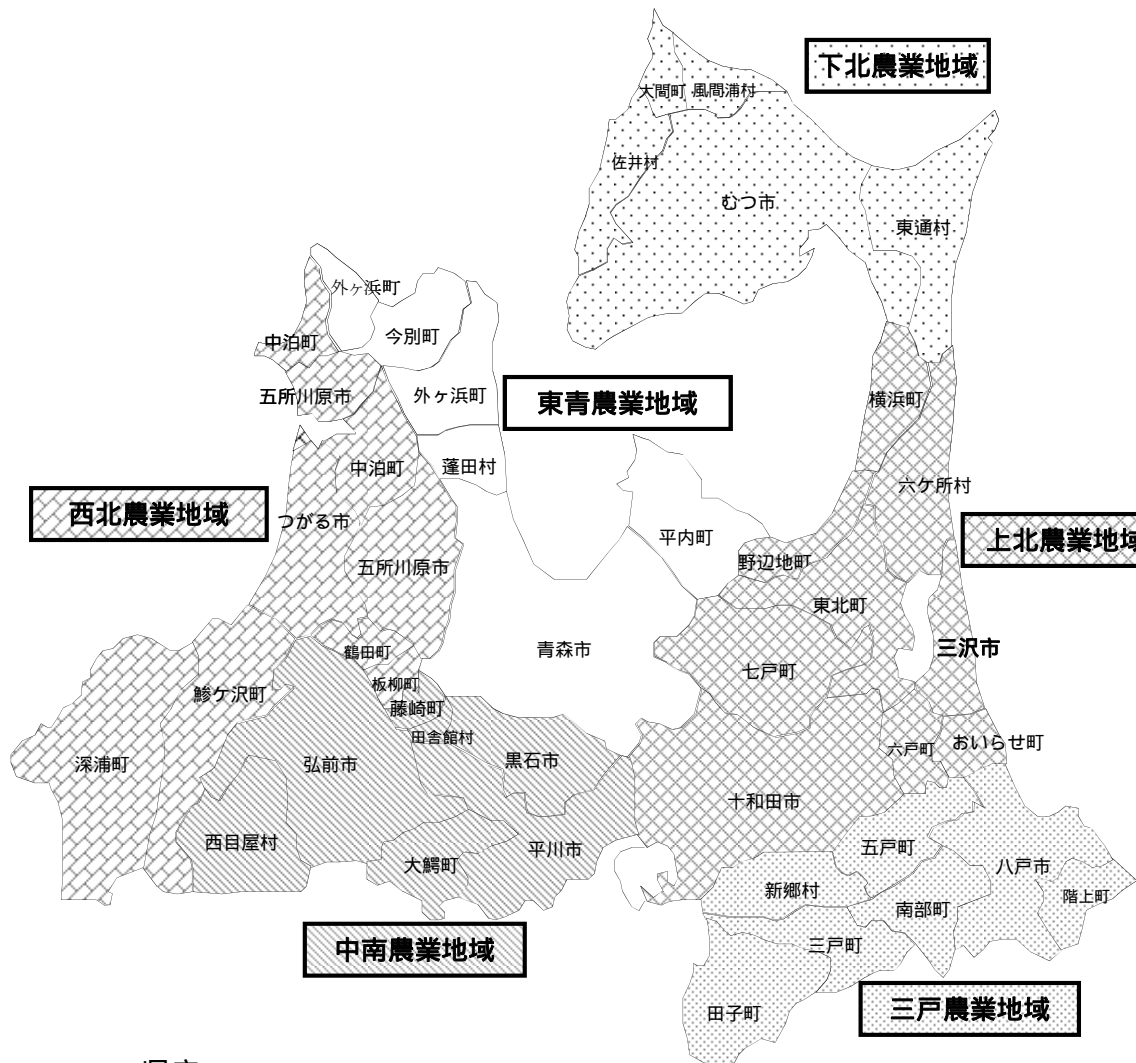
下北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課	0175-22-8581(代)	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
	農業普及振興室	0175-22-2685	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
	むつ家畜保健衛生所	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25

3) 試験研究機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター

畜産研究所	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
繁殖技術肉牛部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
中小家畜・シヤモロック部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
酪農飼料環境部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
和牛改良技術部	0173-26-3153	26-3205	038-2816	つがる市森田町森田月見野558
和牛改良資源部	0179-32-4649	32-4677	039-0201	田子町田子蟹沢9

4) 行政区域・各機関所在地



県庁
 地域県民局地域農林水産部 畜産主務課
 家畜保健衛生所
 普及指導室
 普及指導分室
 畜産研究所
 和牛改良技術部
 和牛改良資源部
 酪農振興センター

5) 畜産関係機関・団体

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
協 会 等	(社) 青 森 県 畜 産 協 会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2775	731-1196
	(社) 青 森 県 獣 医 師 会	030-0813	青森市松原2-8-2 獣医師会館内	017-722-5989	722-6010
	" " 食鳥検査センター	039-1166	八戸市根城六丁目22-22	0178-24-3762	24-3772
	青 森 県 養 鶏 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	729-8799
	(社) 青 森 県 養 豚 協 会	030-0813	青森市松原3-8-5 メゾン高橋1F	017-729-4141	729-8609
	青 森 県 酪 農 協 会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAゆつき青森らくのう支所内	0175-64-3241	64-3244
	青 森 県 飲 用 牛 乳 協 会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青森県家畜人工授精師協会	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	(社) 青 森 県 配 合 飼 料 会 価 格 安 定 基 金 協 会	030-0813	青森市松原3-9-22 いしごおかハイツ2階	017-777-6543	775-5354
	青 森 県 牛 乳 普 及 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部酪農課内	017-729-8650	762-1078
農 協 等	(社) 日 本 短 角 種 登 録 協 会 部 青 森 県 支 部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	(社) 全 国 和 牛 登 録 協 会 部 青 森 県 支 部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	(社) 日 本 軽 種 馬 協 会 部 東 北 支 部	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池96-3	0178-27-0458	23-4341
	全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会 部 青 森 県 本 部	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1078
	JA 全 農 あ お も り 畜 産 酪 農 部 畜 産 酪 農 課 牛 乳 冷 却 処 理 所	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	青森県畜産農業協同組合連合会	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	ゆ う き 青 森 農 業 協 同 組 合 所 ら く の う 支 所	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
	青森県農業共済組合連合会	030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
	青森県鶏卵販売農業協同組合	030-0943	青森市幸畑谷脇219-2	017-738-1241	738-7383
	青森県軽種馬生産農業協同組合	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池96-3	0178-27-0458	23-4341
そ の 他	(社) 青 い 森 農 林 振 興 公 社	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131	734-1738
	青森県食肉事業協同組合連合会	030-0113	青森市第二問屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050- 1197-8559
	青 森 県 家 畜 商 業 協 同 組 合	034-0001	十和田市三本木野崎40-433 三本木畜産農業協同組合内	0176-23-3581	23-5040
	青 森 県 養 蜂 協 会	039-1504	三戸郡五戸町兔内40平利一郎方	0178-62-2754	62-6090
	(財) 青 森 県 学 校 給 食 会	030-0312	青森市横内神田7-2	017-738-1010	738-1051
青 森 県 農 業 会 議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館4階	017-774-8580	774-8588	

6) 畜産関係施設

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
家畜市場	青森県家畜市場 (青森県畜産農業協同組合連合会)	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八戸産地家畜市場 (八戸畜産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町垵渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三本木産地家畜市場 (三本木畜産農業協同組合)	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	おいらせ農協産地家畜市場 (おいらせ農業協同組合)	039-2372	上北郡六戸町折茂上折茂94-1	0176-55-2029	55-3392
	八戸サラブレッド家畜市場 (県軽種馬生産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町垵渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
食肉センター	津軽食肉センター	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡84-1	0172-58-4652	58-4664
	三沢市食肉処理センター	033-0113	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	(株)三戸食肉センター	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤9-1	0179-25-2211	25-2213
	十和田食肉センター	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
主な乳業工場	日本フードパッカー(株)青森工場	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
	萩原乳業(株)	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	(有)谷量舎牛乳店	036-8335	弘前市春日町36	0172-32-1062	32-1062
	(財)新郷村ふるさと活性化公社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2552
	(有)斗南丘牧場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
(財)十和田湖ふるさと活性化公社	034-0301	十和田市奥瀬堰道148-1	0176-72-3101	72-3106	

7) 県内の特徴的な動き(平成22年度)

(1) 三戸地方黒毛和種育種組合の設立

三戸地方黒毛和種育種組合(事務局:三戸畜産農業協同組合)は、平成22年7月に全国和牛登録協会から、優良な種雄牛と繁殖雌牛の育成に取り組む「育種組合」として、県内で初めて(全国28番目)認定を受けました。

組合では、自ら定めた厳しい育種牛選定基準に基づき、地域の雌牛の調査と選定を行い、地域特有の優秀な系統の雌牛群の整備と種雄牛づくりを目指しています。



育種組合設立総会



繁殖雌牛の体型審査

(2) 下北酪農活性化協議会の活動

下北地域では、平成22年7月に行政機関、農協、酪農関係者をメンバーとした下北酪農活性化協議会を設置し、低コスト飼料調製実演会の実施や、地域飼料資源を活用したTMR飼料調製実証、地元産生乳を使った新商品開発などを行っています。



粗飼料収穫調整技術の勉強会



限定販売牛乳のラベル

(3) 獣医師確保対策の実施

県では、平成22~23年度事業として、獣医系大学を目指す学生の増加、獣医師への理解度向上を目的として、「あおり食産業を守る獣医師確保緊急対策事業」を実施しています。

獣医系大学生への修学金給付、高校への出前講座、獣医系大学生との交流、最新機器を活用した技術研修を実施するとともに、青森県獣医師確保対策会議を設置しました。



獣医系大学生への職務紹介

8) 青森県基幹種雄牛

第2花国

だいにはなくに



黒13847(82.9)

生年月日：平成14年8月18日

産地：青森県つがる市

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部

第1花国 (青森・つが) 黒12510 直検1.36 間検1.09 2.7	北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7 あおはな (島根・能義) 黒1884989	第7糸桜 (島根・仁多) きたぐに7 (島根・大田) 花桜 (島根・飯石) 第2あおひろ (島根・能義)
第5はなくに (青森・つが) 黒2025076	北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7 あおはな (島根・能義) 黒1884989	第7糸桜 (島根・仁多) きたぐに7 (島根・大田) 花桜 (島根・飯石) 第2あおひろ (島根・能義)

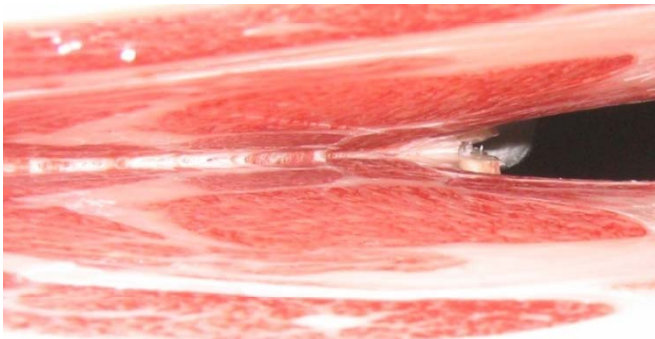
直接検定 1.17
現場検定(平均 n=14)
BMS 7.1 枝重 395kg

本県を代表する名牛「第1花国」を、その全きょうだいの妹「第5はなくに」に交配した近交係数の高い種雄牛です。

現場検定では、頭数が少ない中で、3頭がBMS「11」を記録し、脂肪交雑の成績は本県歴代1位。育種価評価においても、脂肪交雑1位をキープしています。

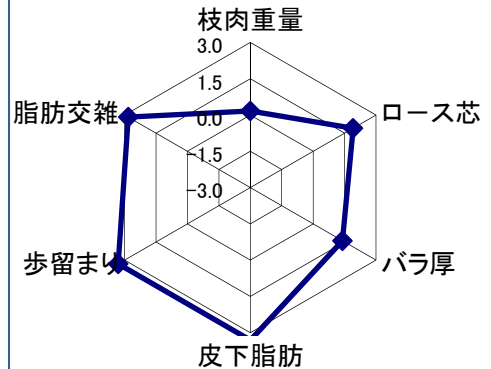
平成23年春頃から現場の肥育成績が順次判明する見込みです。

測定値 (H22.12.21)	
体高	144.0
体長	171.4
胸囲	208.0
胸深	78.0
尻長	60.0
かん幅	52.0
体重	700.0



平成19年度第2回あおもり和牛枝肉研究会 優秀賞
(現場検定調査牛 平成19年9月29日)
雌(第2花国×美津福×北国7の8) 382kg BMS11

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	21.794	264	0.895
ロース芯	11.476	19	0.880
バラ厚	0.982	47	0.872
皮下脂肪	-1.055	15	0.889
推定歩留	2.927	2	0.895
脂肪交雑	2.415	1	0.908



平成22年10月第31回育種価評価より
順位は1,186頭中の順位

第1花園

だいいちはなくに

黒12510(82.8)

生年月日：平成5年5月28日

産地：青森県つがる市

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部



北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7	第7糸桜 (島根・仁多) 黒原65 直検1.38 間検1.02 +3.4 きたぐに7 (島根・大田) 黒原81009	第14茂 (岡山・吉田) 第9いとまくら (島根・仁多) 晴美 (鳥取・八頭) もりなか (島根・大田)
あおはな (島根・能義) 黒1884989	花桜 (島根・飯石) 黒原1637 直検1.21 間検0.87 2.6 第2あおひろ (島根・能義) 黒原81009	糸花 (島根・飯石) 第5いとしげ (島根・飯石) 糸光 ◆ (島根・飯石) あおひろ (島根・能義)

直接検定	1.36	
間接検定	1.03	2.7
H8	43	72.8

青森県を代表する本牛は、今や糸桜系を代表する質量兼備の種雄牛です。

本牛の産肉能力の高さは、全国規模の枝肉共例会での数々の名誉賞獲得により証明されています。

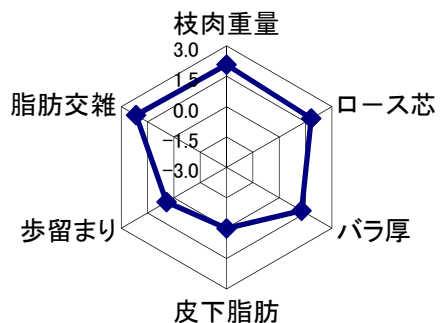
近年は2代祖としても実力を発揮しており、青森県家畜市場においても、雌子牛を中心に高く評価されています。

測定値 (H19.4.18)	
体高	153.5
体長	188.6
胸囲	221.0
胸深	84.5
尻長	62.5
かん幅	52.5
体重	826.0



第5回全農枝肉共励会名誉賞(平成15年7月11日)
去勢(第1花園×安福165の9×恒徳) 506kg BMS12

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	79.550	14	0.994
ロース芯	11.232	21	0.994
バラ厚	0.938	52	0.938
皮下脂肪	-0.276	512	0.994
推定歩留	1.380	218	0.994
脂肪交雑	2.123	4	0.995



平成22年10月第31回育種価評価より
順位は1,186頭中の順位

照神 1 2

てるかみ 1 2



黒 1 2 5 4 8 (8 3 . 0)
 生年月日：平成 6 年 3 月 2 1 日
 産 地：兵庫県美方郡美方町
 繁 殖 者：毛戸 照幸

谷福土井 (兵庫・美方) 黒原 1606 直検 1.14 間検 0.80 3.2	安谷土井 (兵庫・美方) 黒原 472 直検 1.20 間検 0.80 +4.3 きくつる (兵庫・美方) 黒 978542	安美土井 (兵庫・美方) いつひめ (兵庫・美方) 菊美土井 (兵庫・美方) しょうふく 3 (兵庫・美方)
みゆき (兵庫・美方) 黒原 312016	安美土井 (兵庫・美方) 黒 10328 間検 +4.1 みつふく (兵庫・美方) 黒 978528	田安土井 (兵庫・美方) ふくむすめ (兵庫・美方) 菊美土井 (兵庫・美方) ふくよ (兵庫・美方)

本牛は、兵庫県からの導入牛で、祖母「みつふく」は、家畜改良事業団の名牛「美津福」の祖母にあたります。また、父「谷福土井」も「美津福」と同じです。

枝肉の上物率が高く、特に母の父「第1花園」との相性は抜群で、BMSナンバー2桁が頻発したことから、人気が再燃しました。

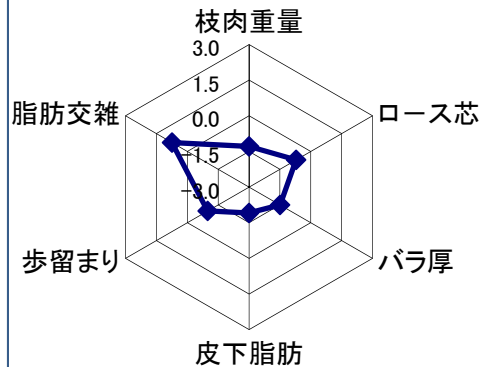
測定値 登録審査時 (17.0ヶ月)	
体高	130.0
体長	150.3
胸囲	184.0
胸深	68.0
尻長	52.5
かん幅	45.0
体重	462.0

間接検定 0.98 2.5
 H09 45 73.1

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	-22.426	951	0.991
ロース芯	3.590	464	0.990
バラ厚	-0.008	809	0.989
皮下脂肪	0.176	1059	0.991
推定歩留	0.628	627	0.992
脂肪交雑	1.506	85	0.993



第21回東北牛匠会枝肉共進会名誉賞(平成17年8月2日)
 雌(照神12×第1花園×北国7の8) 434.5kg BMS12



平成22年10月第31回育種価評価より
 順位は1,186頭中の順位

国栄 97

くにさかえ 97

黒13122(83.0)
 生年月日：平成9年10月30日
 産地：青森県上北郡横浜町
 繁殖者：秋田 藤一



北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7	第7糸桜 (島根・仁多) 黒原65 直検1.38 間検1.02 +3.4 きたぐに7 (島根・大田) 黒原81009	第14茂 (岡山・苫田) 第9いとざくら (島根・仁多) 晴美 (鳥取・八頭) もりなか (島根・大田)
えいこ (青森・下北) 黒1952223	丸優 (兵庫・美方) 黒原1003 直検1.21	菊安土井 (兵庫・美方) すずよし (兵庫・美方) 安美金 (兵庫・美方) ふじえい (青森・三戸)
第9ふじえい (青森・三戸) 黒1764557		

直接検定 1.20
 間接検定 1.03 2.8
 H12 43 72.9

父は名牛「北国7の8」、母の父が本県東通村が誇る菊美系の「丸優」の組合せ。第9回全国和牛能力共進会では、第9区に出品し優等賞を獲得しています。

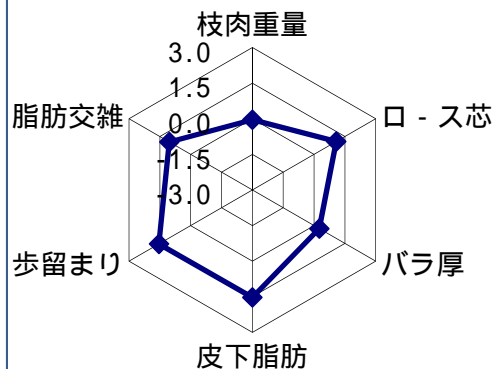
気高系との交配では安定した実績がありますが、兵庫系、糸桜系の牛にも供用可能であり、広範な活用が期待されます。

測定値 (H19.4.18)	
体高	147.8
体長	178.8
胸囲	215.0
胸深	78.0
尻長	61.0
かん幅	54.0
体重	682.0



第9回全農肉牛枝肉共励会 優秀賞(平成19年7月6日) 去勢(国栄97×安平×陸桜) 561kg BMS12

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	15.420	358	0.992
ロース芯	8.989	68	0.990
バラ厚	0.591	157	0.989
皮下脂肪	-0.634	117	0.991
推定歩留	1.982	39	0.992
脂肪交雑	1.635	59	0.993



平成22年10月第31回育種価評価より 順位は1,186頭中の順位



吹越台地飼料生産利用組合によるトウモロコシの収穫作業

編集・発行

青森県農林水産部畜産課